

学習機能付 多機能リモートコマンダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

RM-VL1000U



安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**

- **故障したら使わない**

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

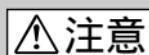
- **万一、異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災、感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電その他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたことがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



火災

感電

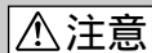
下記の注意を守らないと、**火災・発熱・発火・感電**によりや
けどや大けがの原因となります。

幼児やペットなどに誤って触らせない

このリモコンはオーディオ・ビデオ機器の操作に加えて、学習機能により冷暖房器具や電気器具なども操作できるため、幼児やペットが誤って操作すると火災や大けがなどの原因となります。



使用後は幼児やペットが誤って触らないように、手の届かないところに置くと同時に、ホールド機能(65ページ参照)を使って操作ボタンをロックしてください。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、リモコンの電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



内部を開けない

感電の原因となることがあります。

内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因になることがあります。また、置き場所の強度も十分に確認してください。



主な特長

学習機能付リモートコマンダーRM-VL1000Uは、複数のリモコンによるAV機器操作の煩わしさを解消し、1台でお手持ちのAV機器の集中コントロールを可能にしたリモコンです。本機は、以下のような特長を備えています。

ドットマトリクスによる180個のラベル表示の変更可能

ドットマトリクスによる液晶表示により、機器選択ラベル、各マクロに使われるラベルなど、最大180個のラベル表示の変更ができます。それぞれのラベルに最大8文字まで(アルファベット、数字、記号、カタカナ)入力して、お好みの名称を表示させることができます。

12機器の集中コントロール

最大12機器(テレビ、ビデオ、DVDプレーヤー、CDプレーヤー、アンプなど)のコントロールができます。ラベル選択ボタンを押して、12個のラベルから機器を選ぶことができます。

それぞれ最大32個の連続した操作ステップを持つ最大36個の実行プログラム(マクロ)の設定が可能

ラベルを選択して、最大32個の連続した操作ステップを持つ最大36個のマクロ(12個のシステムマクロ、12個のコンポーネントマクロ、12個のタイマーマクロ)を実行することができます。マクロの実行速度は変更することができます。工場出荷時には、ソニー製品の電源オフのプログラムがSONY OFFラベルに設定されています。

時計表示・タイマー機能

最大12個のタイマーマクロを使って、機器の電源オン／オフなどの操作をタイマー設定することができます。(54ページ)

ソニー製AV機器の集中コントロールがこの1台で可能

工場出荷時には、ソニー製品のAV機器のリモコン信号が設定されていますので、そのままソニー製AV機器のコントロールセンターとしてお使いいただけます。

ソニー製品以外のリモコン信号もあらかじめ記憶ずみ

ソニー製品を含め、主なメーカーのAV機器のリモコン信号を記憶させてあります。機器の種類とメーカー番号を選ぶだけで、お手持ちの機器のリモコン操作が簡単に行えます。(13ページ)

別のリモコンの信号が記憶できる学習機能

お手持ちの機器に付属のリモコンの信号が、本機にあらかじめ記憶されていなかった場合は、本機に学習させて記憶させることができます。（学習させるときは、お手持ちの機器に付属のリモコンを使います。）（24ページ）

また、AV機器だけでなく、エアコンや照明器具などに付属のリモコンの信号を学習させることもできます（一部の機器を除く）。（30ページ）

簡単に選局することができるチャンネルマクロ機能

チャンネル番号をチャンネルマクロラベルに記憶させることができます（最大4桁）。次からは、チャンネルマクロラベルを選択して簡単に選局することができます。

バックライト付きで操作しやすい液晶画面の操作キー表示

液晶画面はバックライト付きなので暗い場所でも容易に操作ができます。

この取扱説明書の表記について

地上波：NHKや民放各局のテレビ放送（VHF/UHF）のことです。東京タワーなど地上にある電波塔や中継塔から放送信号が送られるため地上波と呼びます。

BSデジタル：2000年12月に本放送が開始されたBSデジタル放送のことです。

アナログBS：従来からのBSアナログチューナー内蔵テレビやビデオで受信できるBSアナログ放送と、独立音声ラジオ放送のことです。

デジタルCS：2001年9月現在放送されているスカイパーフェクTV!のことです。110度CS放送ではありません。

マクロ：連続した操作手順をひとつのラベルに記憶させ、ワンタッチで一連の操作を行うことができるシステムプログラムのことです。

目次

安全のために	2
主な特長	4

準備

各部のなまえ	8
電池を入れる	9
電池の交換時期	9
電池についての安全上のご注意	9
時計を合わせる	10

基本的な使いかた

ソニー以外のAV機器の操作をする —メーカー番号の設定—	13
メーカー番号を設定する	14
メーカー番号が正しく設定されているか確認する	16
メーカー番号一覧にない機器を設定する	18
ある機器選択ラベルに登録した信号をすべて消去するには	20
お手持ちの機器をリモコン操作する	22
音量調節について	24
その他のリモコン信号を記憶させる —学習機能—	24
エアコンの信号を学習させる場合のご注意	30
正しく学習させるコツ	30
学習した操作ボタン / ラベルの機能を変更 / 消去する	31

進んだ使いかた

オーディオシステムにつないだ映像機器の音量を調節する	32
操作プログラムを実行する —システムコントロール機能—	36
SYSTEMラベルに操作プログラム(システムマクロ)を 登録する	36
システムコントロール機能についてのご注意	41
SYSTEMラベルに登録した操作プログラムを消去するには	41
機器選択ラベルに操作プログラム(コンポーネントマクロ)を 登録する	43
操作ステップの間隔を変更する	45
コンポーネントマクロの実行時間を変更する	46
機器選択ラベルの機能を拡張する	47
機器を選択すると同時に選んだ機器の電源が入るように設定する (ソニー製品のみ)	47

機器選択ラベルの表示と違う機器を設定する	49
機器選択ラベルに他の機器の操作設定をコピーする	49
ラベルひとつで選局する 一チャンネルマクロ機能—	51
タイマーを設定する	54
新しいタイマープログラムを設定する	54
設定したプログラムや呼び出したプログラムを変更する	59
PROGラベルに登録したタイマー設定を消去するには	63

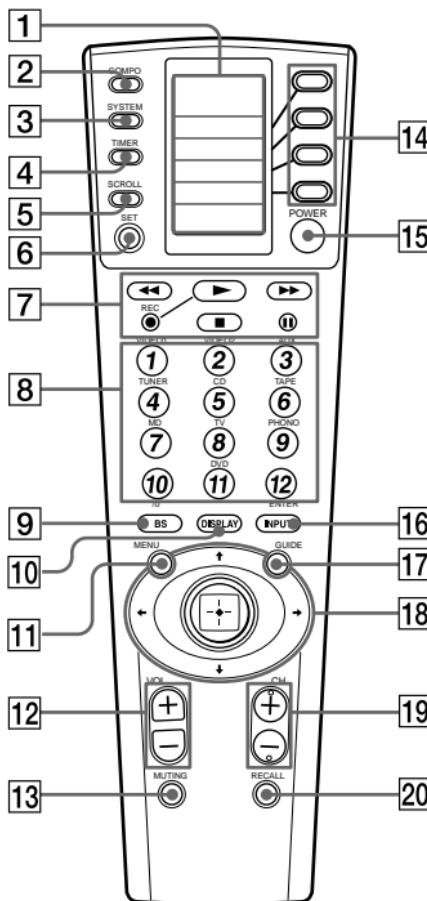
その他の機能

リモコンをロックする 一ホールド機能—	65
画面のバックライトのオートオフ時間を調整する	65
キータッチ音の設定をする	67
画面のコントラストを調整する	67
ラベルの表示を変更する	68
すべての設定内容を消去する 一工場出荷状態に戻す—	71

その他

正しくお使いいただくために	73
主な仕様	73
故障かな？とお考えになる前に	74
記憶されている機能一覧表	78
索引	95
保証書とアフターサービス	97
メーカー番号一覧表	別冊

各部のなまえ



1 液晶表示画面

2 COMPOボタン

3 SYSTEMボタン

4 TIMERボタン

5 SCROLLボタン

6 SETボタン

7 プレーヤー / デッキ操作ボタン

8 数字 (1~9, 10/0, 11, 12/ENTER) / 選局 / アンプ入力切換ボタン

9 BSボタン

10 DISPLAYボタン

11 MENUボタン

12 VOL + / - ボタン

13 MUTINGボタン

14 ラベル選択ボタン

15 POWERボタン

16 INPUTボタン

17 GUIDEボタン

18 ジョイスティック・カーソル

19 CH + / - ボタン

20 RECALLボタン

*VOL(音量)ボタンとMUTING(消音)ボタンについてのご注意

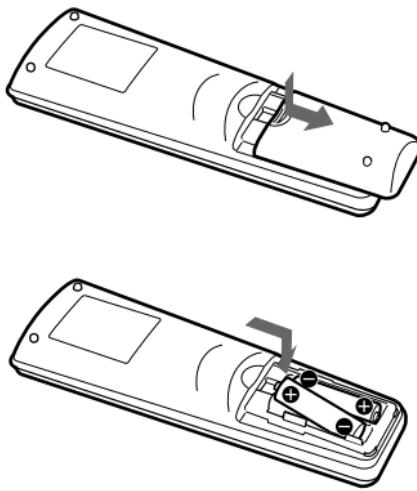
映像機器を選んでいるときは、テレビの音量を調節および消音します。オーディオ機器を選んでいるときは、アンプの音量を調節および消音します。音量調節する機器の設定は変えることができます(32ページ)。

操作ボタン / ラベルの機能についてのご注意

本機の設定や操作する機器によって、ボタン / ラベルの機能が異なります。本機の工場出荷時のそれぞれの機器に対する操作ボタン / ラベルの機能については、「記憶されている機能一覧表」(78ページ)をご覧ください。

電池を入れる

付属の乾電池(単3形マンガン乾電池2本)を入れます。
付属のマンガン電池はお試し用です。
ご使用になる際には、アルカリ乾電池をおすすめします。



電池の交換時期

リモコンの操作およびバックライト用電池(2本)

普通の使いかたをした場合、アルカリ乾電池は約5か月もちます。

電池が消耗してくると、リモコンを操作しようとした際「BATT」が表示され、リモコンは正常に作動しなくなったり、リモコンの動作距離が短くなったりします。画面表示が暗くなったら、2本とも新しいアルカリ乾電池と交換してください。

電池を入れたら、時計を合わせてください(10ページ)。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記のことと必ずお守りください。

△警告

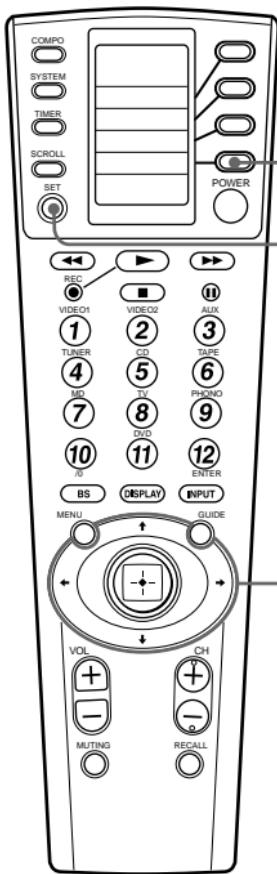
- ・火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- ・乾電池は充電しない。
- ・指定された種類の電池を使用する。

△注意

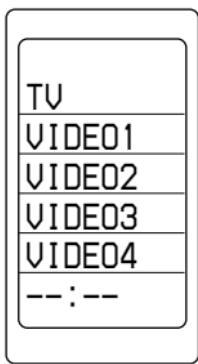
- ・ \oplus と \ominus の向きを正しく入れる。
- ・電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- ・新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

時計を合わせる



電池を入れると、機器操作の画面が表示されます。

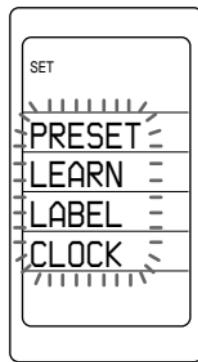


1 SETボタンを1秒以上押し続ける。



「SET」が表示され、本機は各種設定モードになります。

2 ラベル選択ボタンを押して「CLOCK」を選ぶ。



「CLOCK」が表示され、本機は時計設定モードになります。

電池を入れた後はじめて時計を合わせる場合



いったん時計を合わせてから調整する場合

現在設定されている曜日と時刻が表示されます。

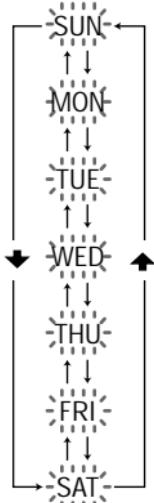


ご注意

ジョイスティックを◀の方へ押すと、曜日が決定され、手順5へ進みます。

- 3** ジョイスティックを▲または▼の方へ押して曜日を選ぶ。

選んだ曜日が点滅します。

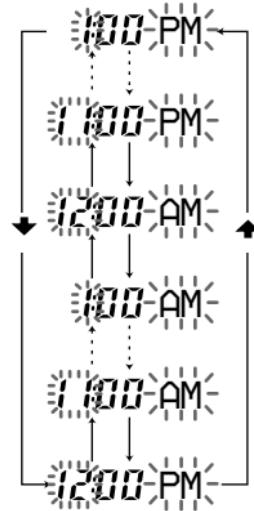


SUN : 日曜日
MON : 月曜日
TUE : 火曜日
WED : 水曜日
THU : 木曜日
FRI : 金曜日
SAT : 土曜日

ジョイスティックを▶の方へ押して曜日を決定します。
「時」と「AM(またはPM)」が点滅します。

- 4** ジョイスティックを▲または▼の方へ押して、「時」およびAM / PMを選ぶ。

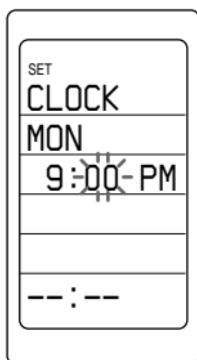
ジョイスティックを▲または▼の方へ押すごとに数字が1(時間)ずつ変わります。
選んだ「時」およびAM / PMが点滅します。



ジョイスティックを▶の方へ押して「時」を決定します。
「分」が点滅します。

次のページへつづく

時計を合わせる(つづき)

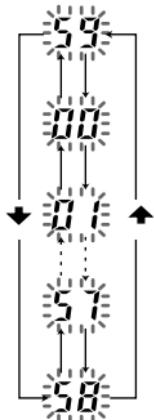


ご注意

ジョイスティックを◀の方へ押すと、「時」およびAM / PMが決定され、手順3へ戻ります。

5 ジョイスティックを▲または▼の方へ押して、「分」を選ぶ。

ジョイスティックを▲または▼の方へ押すごとに数字が1(分)ずつ変わります。選んだ「分」が点滅します。



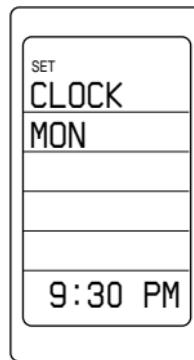
ご注意

- ・ジョイスティックを▶の方へ押すと、「分」が決定され、手順3へ戻ります。
- ・ジョイスティックを◀の方へ押すと、「分」が決定され、手順4へ戻ります。
- ・時計合わせを終了する場合は、手順6へ進みます。

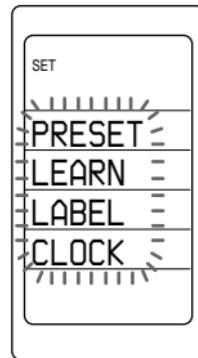
6 SETボタンを押す。



「ピー」という音とともに曜日と時刻が決定され、時計は0秒からスタートします。



本機は各種設定モードになります。



もう一度SETボタンを押すと機器操作の画面が表示されます。

ご注意

3~5のいずれかの手順でSETボタンを押すと、時刻が設定され、時計は0秒からスタートします。

ソニー以外のAV機器の操作をする

—メーカー番号の設定—

本機は工場出荷時に、ソニー製のAV機器を操作できるように設定されています(下の表参照)。工場出荷時の設定と同じソニー製品を操作する場合は、メーカー番号の設定を行う必要はありません。他社製のAV機器を操作する場合、またはソニー製のAV機器でも動作しないときは、14ページの手順に従ってメーカー番号を設定してください。

機器選択 ラベル	操作できる 機器	工場出荷時の 設定
-------------	-------------	--------------

TV	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ^{*1} ・ビデオ一体型テレビ^{*1} ・BSデジタルチューナー内蔵テレビ^{*2} 	ソニー製テレビ
----	--	---------

VTR1	ビデオデッキ ^{*1}	ソニー製VHSビデオデッキ
------	----------------------	---------------

TUNER	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルCSチューナー ・BSデジタルチューナー(スカイパークTV!) ・ケーブルテレビボーマル 	ソニー製デジタルCSチューナー (スカイパークTV!) チューナー
-------	---	---

DVD	<ul style="list-style-type: none"> ・DVDプレーヤー ・DVDレコーダー/プレーヤー^{*2} 	ソニー製DVDプレーヤー ブルーレイディスクレコーダー/プレーヤー
-----	---	--------------------------------------

CATV	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルCSチューナー ・BSデジタルチューナー ・ケーブルテレビボーマル 	ソニー製ケーブルテレビボーマル ホームターミナル
------	--	-----------------------------

VTR2	ビデオデッキ ^{*1}	ソニー製8mmビデオデッキ
------	----------------------	---------------

機器選択 ラベル	操作できる 機器	工場出荷時の 設定
CD	CDプレーヤー	ソニー製CDプレーヤー
AMP	アンプ	ソニー製アンプ
MD/DAT	<ul style="list-style-type: none"> ・MDデッキ ・DATデッキ 	ソニー製MD デッキ
HDVR	ハードディスクビデオレコーダー	ソニー製ハードディスクビデオレコーダー
TAPE A	カセットデッキ ^{*3}	ソニー製カセットデッキ
TAPE B	カセットデッキ ^{*3}	ソニー製カセットデッキ

*1 アナログBSチューナー内蔵テレビ
またはビデオデッキを含む。

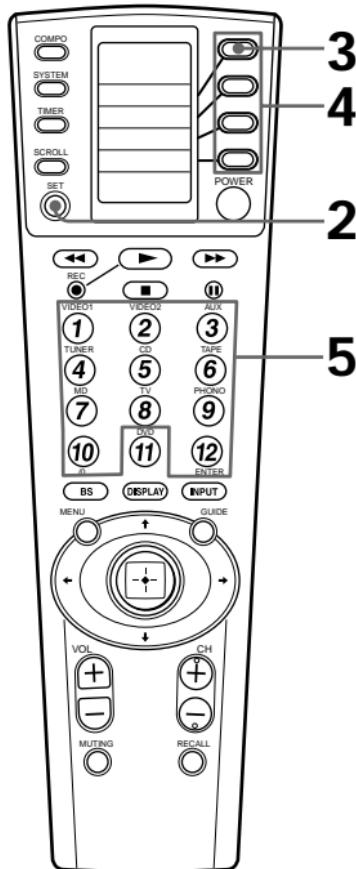
*2 2002年4月時点の調査結果による対応

*3 アナログオーディオコンパクトカセットデッキ

ちょっと一言

- ・工場出荷時のそれぞれの機器に対する本機の操作ボタン / ラベルの機能については、「記憶されている機能一覧表」(78ページ)をご覧ください。
- ・110度デジタルCSチューナー、ビデオとDVDやテレビとDVDなどの一体型機器、アンプ内蔵型DVD機器、HDD搭載機器などの複合機、PCモニター(テレビチューナー内蔵型を含む)などの機器は、記憶されていません。お使いの場合は、機器選択ラベルに学習させてお使いください(24ページ)。

メーカー番号を設定する



例：松下電器のテレビを設定するには

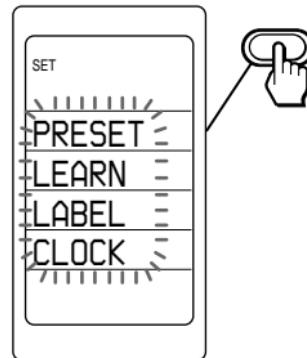
1 付属の「メーカー番号一覧表」を参照し、操作する機器のメーカー番号を探す。メーカー番号が複数ある場合は、一番左の番号を使ってください。例えばパナソニック／ナショナル(松下電器)のテレビを設定するときは、まず「8006」を使います。4桁のメーカー番号の左端の数字は、テレビなどの機器の種類を表します。詳しくは付属の「メーカー番号一覧表」をご覧ください。

2 SETボタンを1秒以上押し続ける。

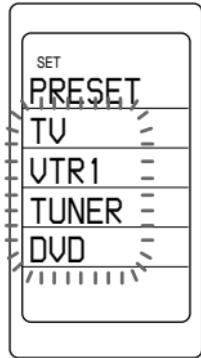


「SET」が表示されます。

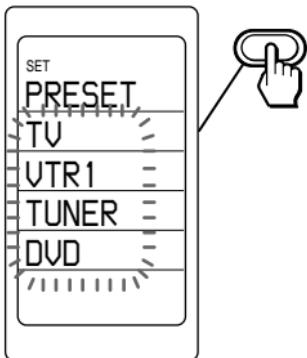
3 ラベル選択ボタンを押して「PRESET」を選ぶ。



本機はメーカー番号設定モードになり、「PRESET」が表示され、機器選択ラベルに機器の名称が表示されます。



- 4 ラベル選択ボタンを押して、機器選択ラベルから操作する機器を選ぶ(例: TV)。



機器選択ラベルの表示を切り換えるには、SCROLLボタンを何回か押します。



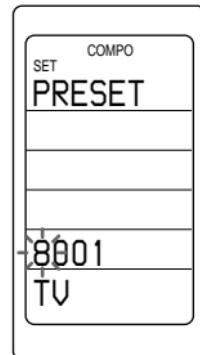
SCROLLボタンを押すたびに表示は次のように切り換わります。

TU	-
VTR1	-
TUNER	-
DVD	-

CATV	-
VTR2	-
CD	-
AMP	-

MD/DAT	-
HDVR	-
TAPE A	-
TAPE B	-

機器を選ぶと、機器選択ラベルに登録してある名称(例: TV)と、その機器に前回設定した4桁のメーカー番号が表示されます。



- 5 数字ボタンを押して4桁のメーカー番号を入力してから12/ENTERボタンを押す。

例:「8006」を入力するには「8」「10」「10」「6」の順に押してから12/ENTERボタンを押す。

⑧ → ⑩ → ⑩ → ⑥ → ⑫
/0 /0 /0 /0 /0
ENTER

ソニー以外のAV機器の操作をする —メーカー番号の設定—(つづき)

メーカー番号が正しく設定されると

「ピー」という音とともに設定した4桁のメーカー番号および「OK」が表示され、画面はメーカー番号設定モードに戻ります。

ここでSETボタンを押すと

本機は各種設定モードになります。

もう一度SETボタンを押すと

機器操作の画面が表示されます。

6 他の機器のメーカー番号を設定する場合は、手順4と5を繰り返す。

SETボタンを押すと

本機の画面はひとつ前に戻ります。

ご注意

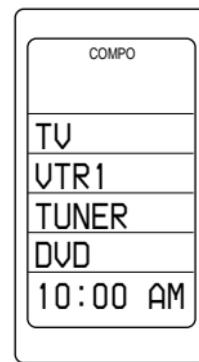
- 「メーカー番号一覧表」にない番号を入力してENTボタンを押すと、「ビビビビビ」という音とともに「NG」が点滅し、設定画面はひとつ前に戻ります。その場合は、メーカー番号を確認してもう一度入力し直してください。
- 設定操作の途中で2分以上放置すると、その時点で入力途中の設定が解除されます。もう一度メーカー番号の設定をし直してください。
- 4桁のメーカー番号の左端の数字は、テレビなどの機器の種類を表します。手順5でメーカー番号を設定した時点で、機器の種類は決定されます。もし、機器選択ラベルの名称と、設定したメーカー番号の機器の種類が異なる場合は、必要に応じてラベルの表示を変更することができます(68ページ)。

メーカー番号が正しく設定されているか確認する

- 1 機器操作の画面が表示されているとき(表示されていない場合はSETボタンを何回か押す。) COMPOボタンを押す。



画面上部に「COMPO」が表示され、機器選択ラベルに機器の名称が表示されます。



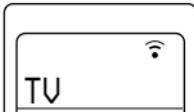
機器選択ラベルの表示を切り換えるには、SCROLLボタンを何回か押します。



SCROLLボタンを押すたびに表示は次のように切り換わります。

TU
VTR1
TUNER
DVD
↓
CATV
VTR2
CD
AMP
↓
MD/DAT
HDVR
TAPE A
TAPE B

リモコン信号が送信されてい
る間、 が表示されます。

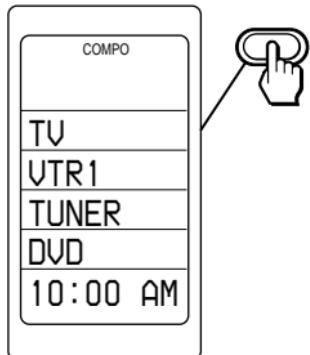


正しく設定されていれば、機
器の電源が切れます。

基
本
的
な
使
い
か
た

5 電源の操作が正しくできた
場合は、チャンネルや音量
などの他の操作も確認して
みる。
詳しくは「お手持ちの機器をリ
モコン操作する」(22ページ)
をご覧ください。

**2 ラベル選択ボタンを押し
て、メーカー番号を設定し
た機器を機器選択ラベルか
ら選ぶ。**



**3 操作する機器本体の主電源
を入れる。**

**4 操作する機器に本機を向け
てPOWERボタンを押す。**



**正しくリモコン操作ができないとき
は**

付属の「メーカー番号一覧表」を参照
し、操作したい機器に複数のメーカー
番号がある場合は、他の番号を使っ
て、もう一度14ページの設定操作を
行ってください。

**すでにリモコン信号が学習され
ている機器についてのご注意**
学習信号(24ページ)によって、
操作ボタン / ラベルにリモコン信
号がすでに記憶されている機器の
機器選択ラベルには、メーカー設
定ができません。メーカー設定を
する場合は、学習されたリモコン
信号を消去してください(31ペー
ジ)。

ソニー以外のAV機器の操作をする —メーカー番号の設定—(つづき)

メーカー番号一覧にない 機器を設定する

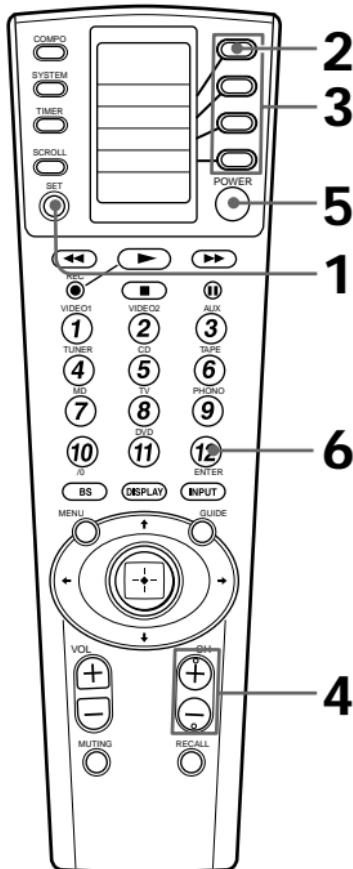
付属の「メーカー番号一覧表」に
ない機器についてはサーチ機能に
よって設定することができます。

サーチを始める前に

サーチ機能での設定を正確に行え
るように、最初に設定する機器本
体を以下の状態にしてください。

TV、AMP：電源を入れる。
CD、MD、TAPE、DAT：電源
を入れ、再生するディスクまたは
カセットテープを入れる。

その他の機器：電源を切る。

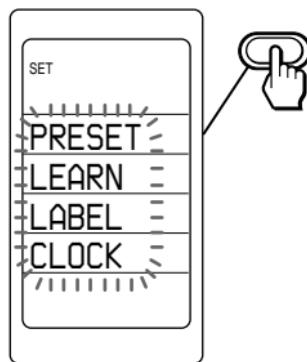


- 1 SETボタンを1秒以上押し
続ける。

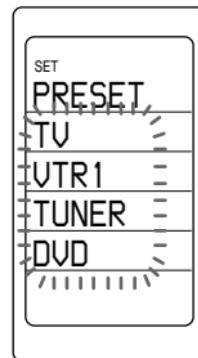


「SET」が表示されます。

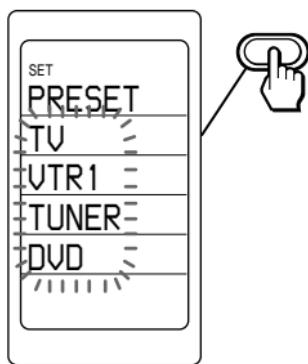
- 2 ラベル選択ボタンを押して
「PRESET」を選ぶ。



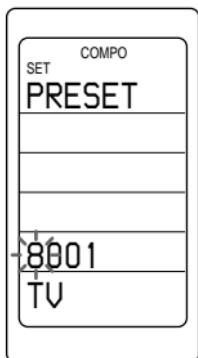
本機はメーカー番号設定モー
ドになり、「PRESET」が表示
され、機器選択ラベルに機器
の名称が表示されます。



3 ラベル選択ボタンを押して、機器選択ラベルから操作する機器を選ぶ(例: TV)。



機器選択ラベルの表示を切り換えるには、SCROLLボタンを何回か押します。SCROLLボタンを押すたびに表示は15ページの手順4のように切り換わります。機器を選ぶと、機器選択ラベルに登録してある名称(例: TV)と、その機器に前回設定した4桁のメーカー番号が表示されます。

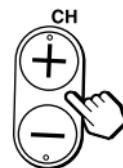


4 CH+またはCH-ボタンを押す。

CH+ : 押した回数分コード番号が送られます。

CH- : 押した回数分コード番号が戻ります。

同じ種類の機器(例えば、「8」で始まる4桁のメーカー番号を持つTV)の中で、コード番号が送られ(戻り)ます。



ご注意

他の種類の機器(「3」、「4」などで始まるメーカー番号を持つ機器)の中で、サーチを行うには、手順3からやり直してください。または、他の種類の機器のメーカー番号を、手順4に入る前に入力してください(入力のしかたは15ページ手順5参照)。

5 操作する機器に本機を向けてPOWERボタンを押す。



リモコン信号が送信されている間、が表示されます。



メーカー番号が正しい場合は、TV、AMPの電源は切れ、CD、MD、DATの再生が始まり、他の機器の電源が入ります。手順6へ進んでください。機器が正しく動作しない場合は、手順4と5を繰り返してください。

6 12/ENTERボタンを押す。



「ピー」という音とともにメーカー番号が設定され、4桁のメーカー番号および「OK」が表示され、画面は手順2の後半に戻ります。

ここでSETボタンを押すと
本機は各種設定モードになります。

もう一度SETボタンを押すと
機器操作の画面が表示されます。

ご注意

設定したメーカー番号をメモしておくと便利です。

ある機器選択ラベルに登録した内容をすべて消去するには

ある機器選択ラベルに登録したメーカー設定、コンポーネントマクロ機能、およびその機器の操作面のボタン / ラベルに設定した信号(学習信号、チャンネルマクロ機能、および入力した文字内容)を一括して消去することができます。

ご注意

本機に学習信号が多く設定されていると、消去が完了するまでに時間がかかることがあります。

1 SETボタンを1秒以上押し続ける。



「SET」が表示されます。

2 SCROLLボタンを2回押してラベルに「CLEAR」を表示させる。

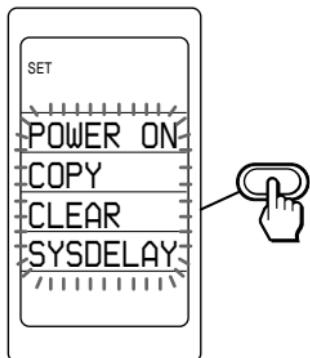


SCROLLボタンを押すたびに、ラベルは次のように切り換わります。

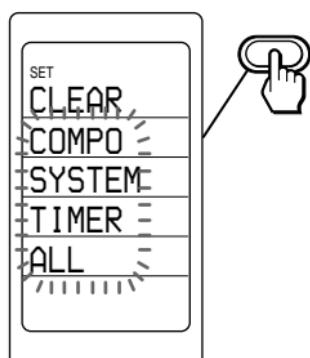


機器選択ラベルに機器の名称が表示されます。機器選択ラベルの表示を切り換えるには、SCROLLボタンを押します。SCROLLボタンを押すたびに、表示は15ページの手順4のように切り換わります。

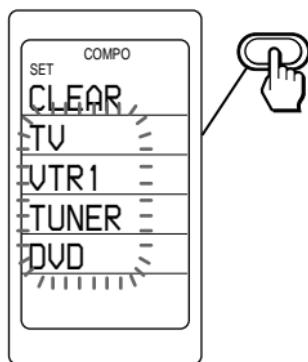
3 ラベル選択ボタンを押して「CLEAR」を選ぶ。



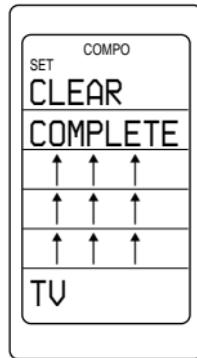
4 ラベル選択ボタンを押して「COMPO」を選ぶ。



5 ラベル選択ボタンを押して、登録した内容を消去したい機器選択ラベルを選ぶ。



消去中



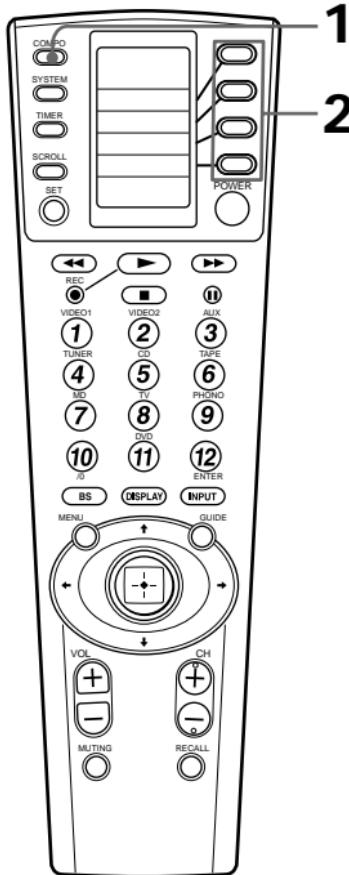
消去が完了すると「ピー」という音とともに「COMPLETE」が表示されます。

他の機器選択ラベルに登録した内容を消去するには手順5を繰り返します。

SETボタンを押すと
本機の画面はひとつ前に戻ります。

お手持ちの機器をリモコン操作する

ソニー製品以外の機器を操作する場合は、あらかじめメーカー番号の設定(13ページ)を行ってください。

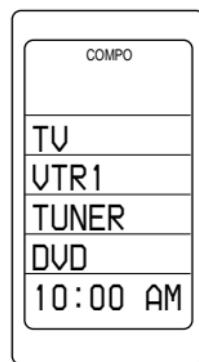


例: VTR1(ビデオデッキ)を操作する

1 機器操作の画面が表示されているとき(表示されていない場合はSETボタンを何回か押す。) COMPOボタンを押す。



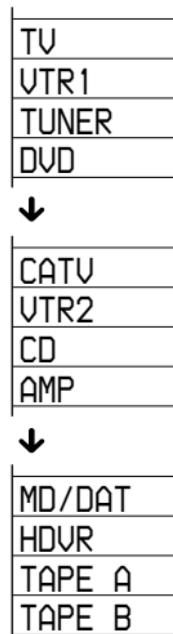
画面上部に「COMPO」が表示され、機器選択ラベルに機器の名称が表示されます。



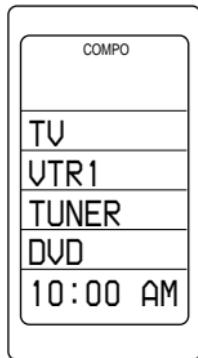
機器選択ラベルの表示を切り換えるには、SCROLLボタンを何回か押します。



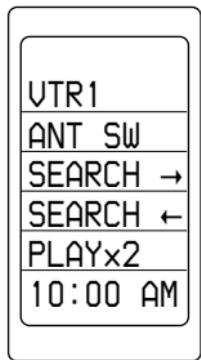
SCROLLボタンを押すたびに表示は次のように切り換わります。



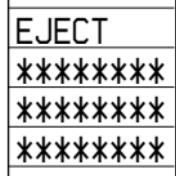
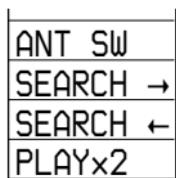
2 ラベル選択ボタンを押して、操作する機器を機器選択ラベルから選ぶ(例: VTR1)。



選んだ機器の操作ラベルが表示されます。



操作ラベルの表示を切り換えるには、SCROLLボタンを何回か押します。SCROLLボタンを押すたびに表示は次のように切り換わります。



3 操作したいボタンを押す

(例: ►)

(操作ラベルはラベル選択ボタンを押して使います。)



リモコン信号が送信されている間、●が表示されます。それぞれの機器の操作ボタン／ラベルの機能については、「記憶されている機能一覧表」(78ページ)をご覧ください。

ご注意

機器や機能によっては操作できないことがあります。この場合は、お手持ちの機器のリモコン信号を本機に学習させてからお使いください(24ページ)。ただし、赤外線リモコンに対応していない機器や機能は、本機では操作できません。

音量調節について

音量を調節するときはVOL + / - ボタンを押し、一時的に消音するときはMUTINGボタンを押します。映像機器を選んでいるときはテレビの音量が調節され、オーディオ機器を選んでいるときはアンプの音量が調節されます。この設定は変えることもできます。

ご注意

- 学習機能(24ページ)でVOL + / - ボタンやMUTINGボタンにリモコン信号を記憶させている機器を選んだ場合、テレビやアンプの音量が調節されるかわりに学習した信号の操作になります。
- TV やAMP のVOL + / - ボタンや MUTINGボタンにリモコン信号を学習させた場合、他の機器では学習した信号の操作になります。また、他の機器のVOL + / - ボタンや MUTINGボタンにリモコン信号を学習させた場合は、その機器を選んだときのみ学習した信号の操作になります。
- TV またはAMP にテレビやアンプ以外の機器を設定(13ページ)していると、他の機器を選んでいるときにテレビやアンプの音量調節はできません。

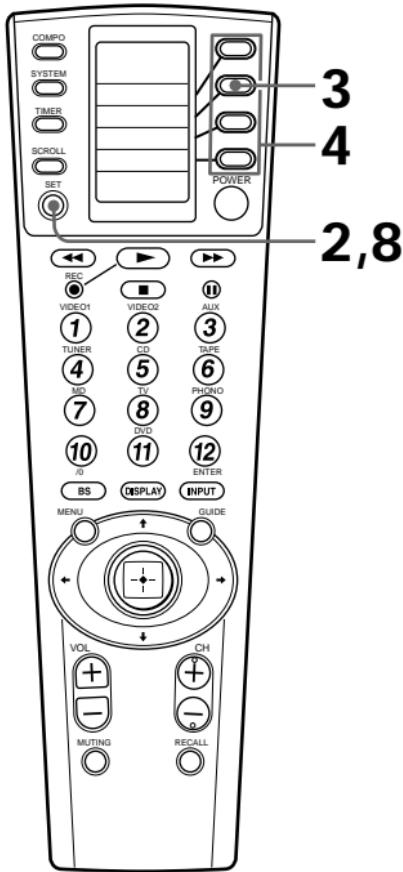
その他のリモコン信号を記憶させる

—学習機能—

メーカー番号を設定しても操作できない機器や機能を操作するために、本機の操作ボタン / ラベルに操作したい機器のリモコン信号を「学習」させることができます。学習機能を使えば、メーカー番号を設定(13ページ)したあとで、それぞれの操作ボタン / ラベルの機能を変えることもできます。

ご注意

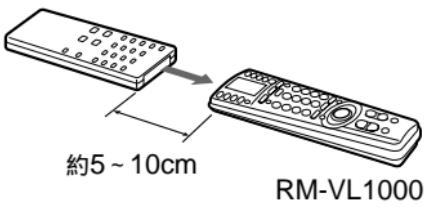
- 110度デジタルCSチューナー、ビデオとDVDやテレビとDVDなどの一体型機器、アンプ内蔵型DVD機器、HDD搭載機器などの複合機、PCモニター(テレビチューナー内蔵型を含む)などの機器は、学習させれば対応が可能になります。
- 学習できないリモコン信号もあります。



例：お使いのビデオデッキのリモコンの▶(再生)信号を本機のVTR1の▶(再生)ボタンに記憶させるには

1 本機RM-VL1000Uとお使いの機器(ビデオデッキ)のリモコンを向かい合わせにする。

お使いの機器のリモコン



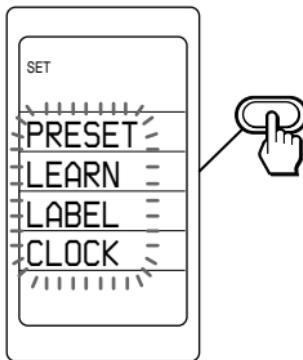
RM-VL1000

2 SETボタンを1秒以上押し続ける。

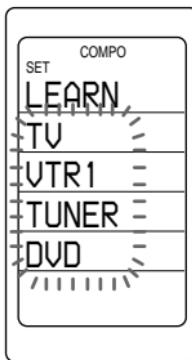


「SET」が表示されます。

3 ラベル選択ボタンを押して「LEARN」を選ぶ。



本機は学習設定モードになり、「LEARN」が表示され、機器選択ラベルに機器の名称が表示されます。



4 ラベル選択ボタンを押して、学習させる機器の機器選択ラベルを選ぶ。

(機器選択ラベルの表示を切り換えるには、SCROLLボタンを何回か押します。)

その他のリモコン信号を記憶させる—学習機能—(つづき)



選んだ機器の名称が表示され、学習可能な操作ラベルが点滅します。



ANT SW
SEARCH →
SEARCH ←
PLAYx2

↓
C.RESET
COUNTER
CMカット
SP/LP

↓
EJECT



操作ラベルの表示を切り換えるには、SCROLLボタンを押します。



SCROLLボタンを押すたびに表示は次のように切り換わります。

表示の点滅について

選んだ機器の操作ラベルの中で、学習信号以外の信号を設定してあるラベルは、何も設定していないラベルの2倍の速さで点滅します。

ラベルの表示を変更するには
28ページをご覧ください。

SETボタンを押すと

本機の画面はひとつ前に戻ります。

-
- 5 学習信号を記憶させたい操作ボタンを押す。またはラベル選択ボタンを押して操作ラベルを選ぶ。



本機は学習待機状態になり、「LEARN」が約10秒間点滅します。

操作ラベルを選択した場合

ラベルの中で選択されたラベル表示だけが残り、他のラベル表示は消えます。

**VOL+/-、CH+/-ボタンなどの操作ボタンを押した場合**

ラベル表示は消えます。

6 「ピー」という音がするまで、お使いの機器(ビデオデッキ)のリモコンのボタンを押し続ける。

(「ピー」という音がするまで押し続けないと、学習信号が正しく設定されません。)



学習信号が正しく設定されると
画面上の学習させたラベルは点灯し、その他のラベルは点滅します。

「NG」が表示されたら

学習信号が正しく設定されませんでした。もう一度手順5と6を行ってください。

7 引き続き同じ機器の操作面で他の操作ボタン / ラベルに学習させるとときは、手順5と6を繰り返す。**他の機器の操作ボタン / ラベルに学習させるときは**

手順4で学習させる機器を選び、手順5と6を行ってください。

8 SETボタンを押す。

本機は学習設定モードに戻ります。

もう一度SETボタンを押すと
本機は各種設定モードになります。

更にもう一度SETボタンを押すと

機器操作の画面が表示されます。

ご注意

- 学習の途中で2分以上放置すると、学習機能が解除されます。
- 手順5のあと10秒以内に手順6を行わないと、手順4の状態に戻ります。
(画面上の学習可能なラベルが点滅します。)この場合、画面表示が点滅している間にもう一度手順5を行ってください。

正しくリモコン操作ができないときは

学習した操作ボタン / ラベルで正しく操作できないときは、もう一度学習をやり直してください。
(例えば、VOL+ボタンを1回押しただけで音量が非常に大きくなる場合などは、学習中にノイズが入った可能性があります。)

学習したあとのメーカー設定は

学習したあとに、同じ機器にメーカー設定を行うことは出来ません。

その他のリモコン信号を記憶させる—学習機能—(つづき)

録音または録画信号を学習させるときは

お使いのテープデッキやビデオデッキで、録音や録画をするのにふたつのボタンを同時に押す(●ボタンと▶ボタンなど)必要がある場合は、次の方法で学習信号を本機に記憶させてください。

26ページの手順5で、●(REC)ボタンだけを押します。次に手順6で、お使いの機器のリモコンのふたつのボタンを同時に押します。

本機では、ふたつのボタン(●(REC)ボタンと▶ボタンなど)を同時に押して録音や録画をするように信号を記憶させることはできません。

VOL +/- ボタンやMUTINGボタンにリモコン信号を学習させるときは

- TV とAMP 以外の機器でVOL +/- ボタンやMUTINGボタンに学習させた場合、その機器を操作するときにVOL +/- またはMUTINGボタンを押したときのみ、学習させた信号の操作になります。
- TV やAMP のVOL +/- ボタンやMUTINGボタンにリモコン信号を学習させた場合、他の機器では学習した信号の操作になります。また、他の機器のVOL +/- ボタンやMUTINGボタンにリモコン信号を学習させた場合は、その機器を選んだときのみ学習した信号の操作になります。

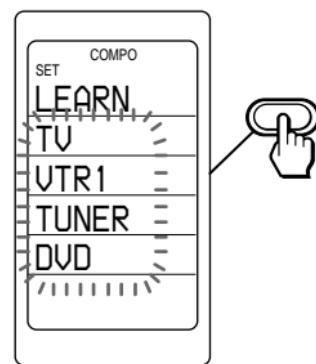
エアコンのリモコン信号を学習させるときは

30ページのご注意をお読みください。

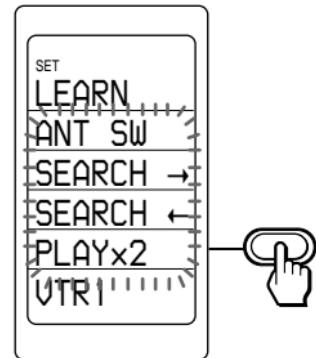
操作ラベルの表示を変更するには

操作ラベルに最大8文字まで(アルファベット、数字、記号、カタカナ)入力して、お好みの名称を表示させることができます。

- 1 25ページの手順4で、ラベル選択ボタンを押して、機器選択ラベルを選ぶ(例: VTR1)。



- 2 ラベル選択ボタンを2秒以上押し続けて、表示を変更したい操作ラベルを選ぶ。



操作ラベルが入力可能な状態になります。



3 ジョイスティックを▲または▼の方へ押して、目的の文字を入力する。

まず、点滅している一番左の位置から文字を入力します。

ジョイスティックを▲または▼の方へ何回か押して、目的の文字を表示させます。

ジョイスティックを▼の方へ押すたびに、文字、数字および記号が下記の順に変わります。ジョイスティックを▲の方へ押すと、逆の順に変わります。

ジョイスティックを▼または▲の方へ押し続けると、文字、数字および記号が連続して変わります。

A → B → C → D → E → F
 → G → H → I → J → K →
 L → M → N → O → P →
 Q → R → S → T → U → V
 → W → X → Y → Z → a
 → b → c → d → e → f →
 g → h → i → j → k → l →
 m → n → o → p → q → r
 → s → t → u → v → w →
 x → y → z → 0 → 1 → 2
 → 3 → 4 → 5 → 6 → 7 → 8
 → 9 →

スペース → ! → " → # → \$
 → & → (→) → * → + → ,
 → - → . → / → : → ? → ~
 → ↩ → ↩ → ↩ → ↩ → ↩
 → ↩ → ↩ → ↩ → ↩ → ↩

→ ア → イ → ウ → エ → オ
 → カ → キ → ク → ケ → コ
 → サ → シ → ス → セ → ソ
 → タ → チ → ツ → テ → ト
 → ナ → ニ → ヌ → ネ → ノ
 → ハ → ヒ → フ → ヘ → ホ
 → マ → ミ → ム → メ → モ
 → ヤ → ユ → ヨ → ラ → リ
 → ル → レ → ロ → ワ → ヲ
 → ヌ → 、 → 。 → ・ →
 ' → ' → ア → イ → ウ → エ
 → オ → ャ → ュ → ョ → ヅ

基本的な使いかた

4 ジョイスティックを▶の方へ押して、手順3で入力した文字を決定する。

点滅はひとつ右に移ります。

ジョイスティックを◀の方へ押すと点滅はひとつ左に移ります。点滅している位置の文字が入力可能になります。

入力を間違えたときは

ジョイスティックを◀または▶の方へ押して、修正したい文字を点滅させ、入力し直します。

5 手順3と4を繰り返して、操作ラベルの表示を完成させる。

一番右の位置が点滅しているときにジョイスティックを▶の方へ押すと、一番右の文字は決定され、点滅は一番左に移ります。

6 SETボタンを押して、操作ラベルの表示の決定をする。

本機は学習待機状態になります。

正しく学習させるコツ

- ・学習中に、リモコンを動かさないでください。
- ・本機が操作説明どおりの状態になるまで、お使いの機器のリモコンのボタンを押し続けてください。
- ・両方のリモコンに、新しい電池を入れて学習を行ってください。
- ・直射日光のあたる場所や、照明器具の下などは避けてください。(ノイズが入る原因となります。)
- ・お使いの機器のリモコンの形状によっては、発光部の位置がずれている場合があります。うまく学習できないときは、リモコンの位置を変えてみてください。
- ・双向リモコン(一部ソニー製のチューナーやアンプに装備)で学習する場合、アンプなどのメインユニット側の信号と干渉し、うまく学習できないことがあります。そのときは別の部屋に移るなどして操作をしてください。

⚠ 警告

幼児やペットなどに誤って触らせない

このリモコンはオーディオ・ビデオ機器の操作に加えて、学習機能により冷暖房器具や電気器具なども操作できるため、幼児やペットが誤って操作すると火災や大けがなどの原因となります。使用後は幼児やペットが誤って触らないように、手の届かないところに置くと同時に、ホールド機能(65ページ)を使って操作ボタンをロックしてください。

エアコンの信号を学習させる場合のご注意

季節による違いについて

季節によりエアコンの設定や操作を変える必要がある場合は、そのたびに、本機にリモコン信号を学習しなおしてください。

エアコンの電源オン／オフがうまくできないときは

お使いのエアコンのリモコンではひとつボタンで電源オン／オフができるのに、学習させた本機の操作ボタン／ラベルでは電源オンまたは電源オフしかできない場合は、下記の手順でふたつのボタンに学習しなおしてください。

1 エアコンの電源オン／オフを学習させた操作ボタン／ラベルの学習内容をいったん消去する(31ページ)。

2 その操作ボタン／ラベルに、同じ手順でエアコンの電源オンのリモコン信号を学習させる。(エアコンのリモコンの電源オン／オフボタンの信号を学習させます。)

3 続けて、別の操作ボタン／ラベルにエアコンの電源オフのリモコン信号を学習させる。(同じエアコンのリモコンの電源オン／オフボタンの信号を学習させます。)

これで、本機のふたつの操作ボタン／ラベルにはそれぞれエアコンの電源オン(運転)の信号と、電源オフ(停止)の信号が記憶されるので、本機でエアコンの電源オン／オフを操作することができます。

学習した操作ボタン / ラベルの機能を変更 / 消去する

学習した操作ボタン / ラベルの機能を変更する場合は、まず学習信号を消去してから学習を行ってください。

操作ボタン / ラベルの学習信号を消去するには

25ページの手順4のあと、学習信号を消去したい操作ボタンを押しながらSCROLLボタンを押します。

(操作ラベルの学習信号を消去する場合は、ラベル選択ボタンを押しながらSCROLLボタンを押します。)



「CLEAR OK」が表示され、「ピー」という音とともに学習信号の消去が完了します。学習信号を消去した操作ラベルは点滅し、学習可能なラベルになります。

ご注意

本機に学習信号が多く設定されていると、消去が完了するまでに時間がかかることがあります。

ラベルの表示が変更されている場合は

ラベルに入力した文字内容を消去するには、上記の操作をもう一度行ってください。入力した文字内容は消去され、ラベルの表示は、工場出荷時の状態に戻ります。

オーディオシステムにつないだ映像機器の音量を調節する

本機は、映像機器の音はテレビのスピーカーから、オーディオ機器の音はアンプにつないだスピーカーから聞くことを想定して、映像機器の音量はテレビで、オーディオ機器の音量はアンプで調節できるようになっています。例えば、ビデオデッキを操作しているとき、音量を調節するためにテレビ操作モードに切り換える必要はありません。

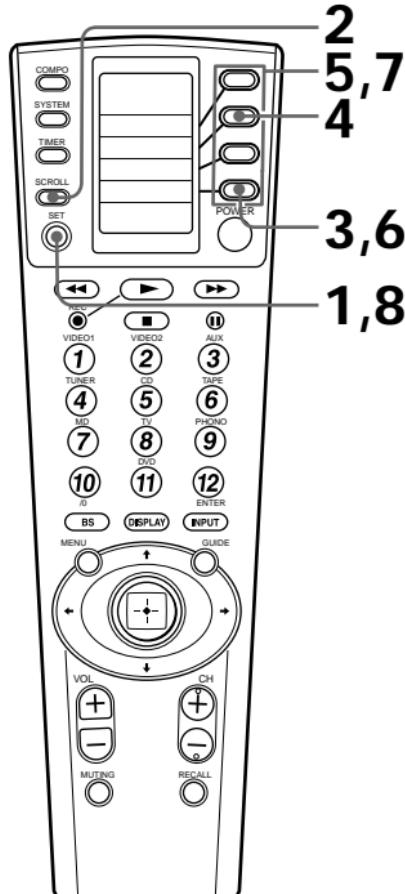
工場出荷時は以下のように設定されています。

機器選択ラベル 音量調節できる機器	
TV	テレビ
VTR1	テレビ
VTR2	テレビ
CATV	テレビ
TUNER	テレビ
HDVR	テレビ
DVD	テレビ
CD	アンプ
AMP	アンプ
MD/DAT	アンプ
TAPE A	アンプ
TAPE B	アンプ

お使いの映像機器をオーディオシステムにつないで、映像機器の音もアンプにつないだスピーカーから聞こえるように接続している場合は、次の手順に従って工場出荷時の設定を変えてください。映像機器の音量を調節するときに、アンプの操作画面に切り換える必要がないので便利です。

また、映像機器の音量調節の設定を他のアンプまたはテレビで行うようにしたり、オーディオ機器の音量調節の設定を他のアンプで行うように設定を変えることもできます(他のアンプまたはテレビをメーカー設定によって本機に登録してある場合)。

工場出荷時の音量調節設定を変えるには



- 1 SETボタンを1秒以上押し続ける。



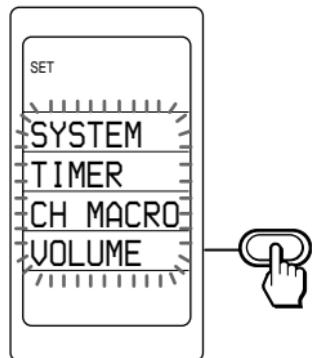
「SET」が表示されます。

- 2 SCROLLボタンを1回押してラベルに「VOLUME」を表示させる。

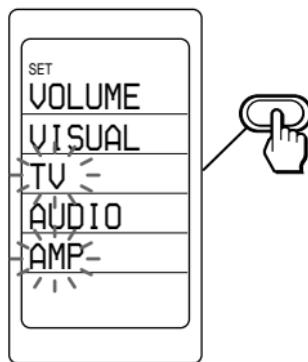


1回押す

- 3 ラベル選択ボタンを押して「VOLUME」を選ぶ。



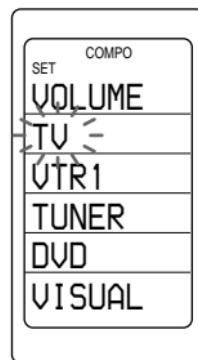
- 4 映像機器(TV、TUNER、CATV、DVD、VTR1、VTR2およびHDVR)の音量調節をするように設定されている機器を変更するには、ラベル選択ボタンを押して、「VISUAL」の下に表示されているラベル(例: TV)を選ぶ。



機器の名称がラベルに表示されます。ラベルを切り換えるには、SCROLLボタンを何回か押します。

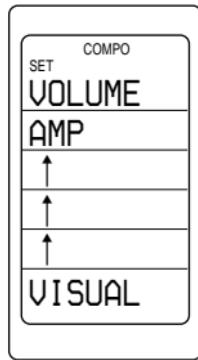
進
ん
だ
使
い
か
た

選択可能な機器が設定されているラベルが点滅します。4桁のメーカー番号が「8」または「4」で始まる機器(テレビまたはアンプ)だけが選択できます。(機器の名称表示を変更してある場合は、入力した文字が表示されます。)



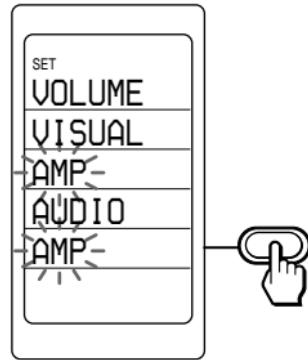
オーディオシステムにつないだ映像機器の音量を調節する(つづき)

5 ラベル選択ボタンを押して、映像機器の音量調節をする機器を選ぶ(例：AMP)。
「ピー」という音とともに映像機器の音量調節設定が(この例ではAMPに)切り換わります。



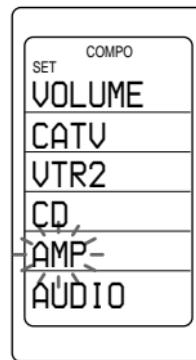
他の機器に音量調節設定をする場合は、手順4と5を繰り返します。

6 オーディオ機器(AMP、CD、MD/DAT、TAPE AおよびTAPE B)の音量調節をするように設定されている機器を変更するには、ラベル選択ボタンを押して、「AUDIO」の下に表示されているラベル(例：AMP)を選ぶ。



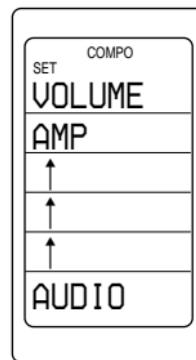
機器の名称がラベルに表示されます。ラベルを切り換えるには、SCROLLボタンを何回か押します。

選択可能な機器が設定されているラベルが点滅します。4桁のメーカー番号が「4」で始まる機器(アンプ)だけが選択できます。(機器の名称表示を変更してある場合は、入力した文字が表示されます。)



7 ラベル選択ボタンを押して、オーディオ機器の音量調節をする機器を選ぶ(例：AMP)。

「ピー」という音とともに映像機器の音量調節設定が(この例ではAMPに)切り換わります。



他の機器に音量調節設定をする場合は、手順6と7を繰り返します。

8 SETボタンを押す。

本機の画面はひとつ前に戻ります。

ご注意

- 工場出荷状態で「TV」や「AMP」と表示されるラベルに、音量調節をする機器としてテレビやアンプを設定すると、設定したテレビやアンプの音量調節の信号が出力されます。しかし、学習機能によって、テレビやアンプのVOL+/-ボタンまたはMUTINGボタンにリモコン信号を記憶させた場合は、学習させた音量調節の信号が出力されます。
- 工場出荷状態で「TV」や「AMP」と表示されるラベルへの音量調節設定を変更しない限り、他の機器選択ラベルに他のテレビやアンプをメーカー設定しても、初期設定どおりのテレビやアンプの音量調節の信号が出力されます。しかし、他の機器選択ラベルに設定したテレビやアンプを、音量調節をする機器として設定すると、そのテレビやアンプの音量調節の信号が出力されます。その場合、学習機能によってそのテレビやアンプのVOL+/-ボタンまたはMUTINGボタンにリモコン信号を記憶させると、学習させた音量調節の信号が出力されます。
- 音量調節をする機器として設定されたテレビやアンプのVOL+/-ボタンまたはMUTINGボタンにデータが設定されていないと、音量調節の信号は出力されません。
- 音量調節をする機器として設定された機器選択ラベルにテレビやアンプ以外の種類の機器を設定すると、VOL+/-ボタンまたはMUTINGボタンから音量調節の信号は出力されません。
- 音量調節のデータがない機器を操作する場合、その機器のVOL+/-ボタンまたはMUTINGボタンに学習機能によってリモコン信号を記憶させていると、音量調節設定によってその機器の音量調節をしようとしても、その機器に学習させた信号が出力されます。

・オーディオ機器の音量調節をする場合、アンプのVOL+/-ボタンやMUTINGボタンの信号、または学習機能によってアンプのVOL+/-ボタンやMUTINGボタンに記憶させた信号が出力されます。

- 映像機器の音量調節をする場合、テレビが音量調節をする機器として設定されているときは、テレビのVOL+/-ボタンやMUTINGボタンの信号、または学習機能によってテレビのVOL+/-ボタンやMUTINGボタンに記憶させた信号が出力されます。
- 映像機器の音量調節をする場合、アンプが音量調節をする機器として設定されているときは、アンプのVOL+/-ボタンまたはMUTINGボタンの信号が出力されます。しかし、アンプのVOL+/-ボタンまたはMUTINGボタンに学習機能によってリモコン信号を記憶させていると、学習させた信号が出力されます。

操作プログラムを実行する

—システムコントロール機能—

システムコントロール機能を使って、SYSTEMラベル(SONY OFF、SYSTEM2～12)に操作プログラムを登録することができます。いったん登録しておけば、次の手順で登録した操作プログラム(システムマクロ)を実行することができます。

- 1 機器操作の画面が表示されているときに(表示されていない場合はSETボタンを何回か押す。)SYSTEMボタンを押す。
- 2 ラベル選択ボタンを押してSYSTEMラベルを選ぶ。

例えばビデオを見る場合、下記のような操作が必要になります。

例：

- 1 テレビの電源を入れる
- 2 ビデオの電源を入れる
- 3 アンプの電源を入れる
- 4 アンプの入力切り換えをVIDEO1にする
- 5 テレビの入力切り換えをビデオにする
- 6 ビデオの再生を始める

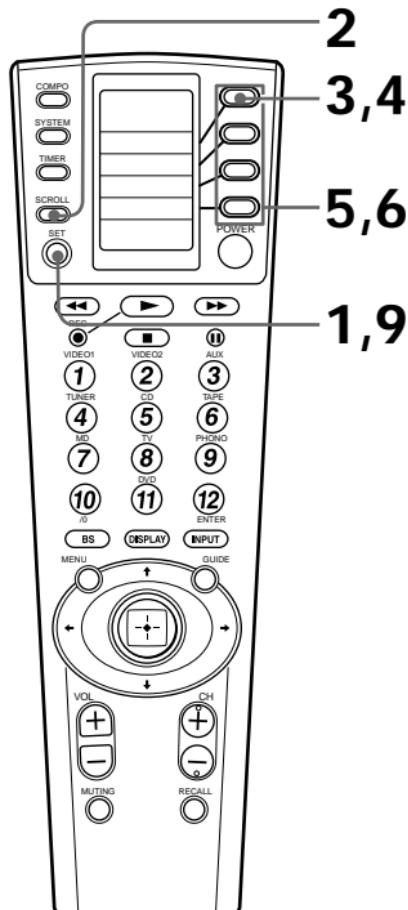
それぞれのSYSTEMラベル(SONY OFF、SYSTEM2～12)には32個の連続した操作ステップを登録することができます。

工場出荷時には、SONY OFFラベルにソニー製品の電源オフのプログラムが設定されています。この設定の上から、操作プログラムを上書きして登録することができます。

システムコントロール機能は機器選択ラベルにも登録することができます(43ページ)。この場合は、機器選択ラベルの選択ボタンを1秒以上押し続けると、登録した一連のプログラム(コンポーネントマクロ)が実行されます。コンポーネントマクロの実行開始までの時間は設定によって変えることができます(46ページ)。

SYSTEMラベルに操作プログラム(システムマクロ)を登録する

例：左記の操作プログラムをSYSTEM2ラベルに登録する



1 SETボタンを1秒以上押し続ける。

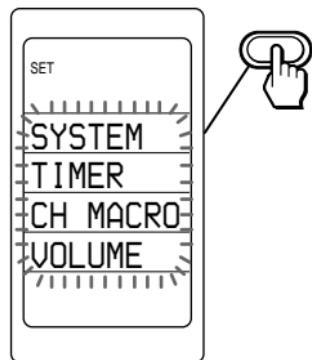


「SET」が表示されます。

2 SCROLLボタンを1回押してラベルに「SYSTEM」を表示させる。

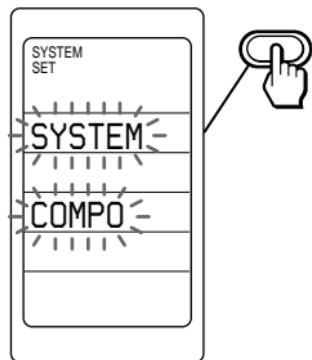


3 ラベル選択ボタンを押して「SYSTEM」を選ぶ。



「SYSTEM」と「COMPO」が点滅します。

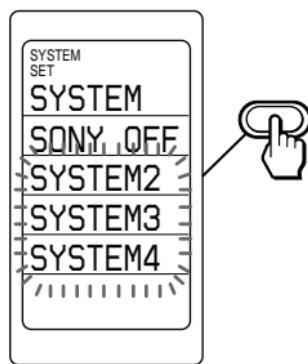
4 ラベル選択ボタンを押して「SYSTEM」を選ぶ。



SYSTEMラベル(SONY OFF、SYSTEM2~12)が表示されます。SYSTEMラベルの表示を切り換えるには、SCROLLボタンを何回か押します。

プログラムがすでに登録されているSYSTEMラベルは点灯し、その他のラベルは点滅します。

5 ラベル選択ボタンを押して、プログラムを登録するSYSTEMラベルを選ぶ。



選んだSYSTEMラベルの名称と、機器選択ラベルが表示されます。

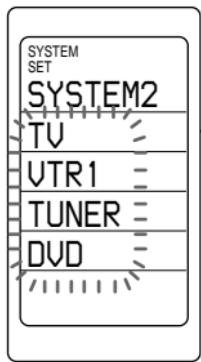
プログラムがすでにそのラベルに登録されているときは

新しくプログラムを登録する場合は、他のラベルを選ぶか、プログラムを消去(40ページ)して、はじめから設定し直してください。

操作プログラムを実行する —システムコントロール機能— (つづき)

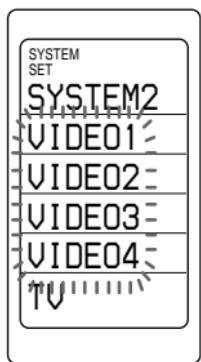
6 ラベル選択ボタンを押して、操作したい機器を機器選択ラベルから選ぶ(例: TV)

機器選択ラベルの表示を切り換えるには、SCROLLボタンを何回か押します。



画面下部に選んだ機器の名称が表示され、操作ラベルが表示されます。

操作ラベルを切り換えるには、SCROLLボタンを何回か押します。



他の機器を選ぶには、COMPOボタンを押します。

7 登録したい操作ボタンを押す。

(操作ラベルを登録する場合はラベル選択ボタンを押す。)

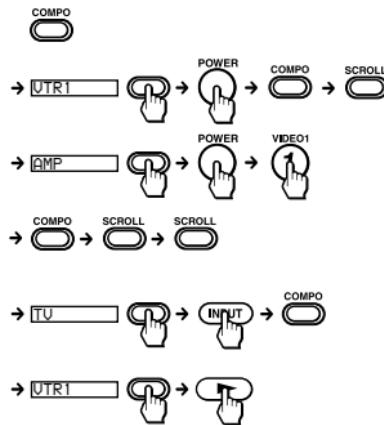
POWER



テレビの電源を入れる場合はPOWERボタンを押します。

8 手順6と7を繰り返し、操作プログラムを入力する。

この例では次のようにボタンを押します。



9 操作ボタン / ラベルの登録がすべて終わったら、SETボタンを押す。

「ピー」という音とともに操作プログラムの登録が終了します。

本機の画面は手順5に戻ります。

SETボタンを押すと

本機の画面はひとつ前に戻ります。

ご注意

- ・設定操作の途中で2分以上放置すると、その時点で設定が解除され、機器操作の画面が表示されます。
- ・システムコントロール機能によってSYSTEMラベルにプログラムを登録した機器のメーカー設定(13ページ)を変えたり、登録した操作ボタン/ラベルに学習信号(24ページ)を記憶させた場合、SYSTEMラベルを選択すると、新しい信号が送信されます。
- ・操作プログラムを登録している途中で操作ステップを消去することはできません。操作ステップの入力を間違えた場合は、手順1から操作をやり直してください。
- ・入力できる操作ステップは32個までです。32個めの操作ステップを入力後システムコントロール機能の設定が完了し、プログラムとして登録されます。設定し直す場合はプログラムを消去(40ページ)して、手順1から設定し直してください。
- ・SCROLLボタンは操作ステップとしては数えられません。
- ・38ページの手順6で、すでに電源オンのプログラム設定(47ページ)をした機器を選択し、POWERボタンの操作ステップを登録すると、システムコントロール機能が実行されたときに、その機器が選択されると同時に機器の電源が入り、その後、システムコントロール機能に登録されたPOWERボタンの機能が働いて機器の電源が切れてしまいます。この場合は、システムコントロール機能にPOWERボタンの操作ステップを登録しないようにするか、電源オンのプログラム設定を消去(48ページ)してからシステムコントロール機能にPOWERボタンの操作ステップを登録してください。

操作ステップの間隔について

- ・操作ステップの間隔は変更することができます(45ページ)。
- ・連続した操作ステップの信号を機器側でうまく受信できない場合は、38ページの手順8の、各操作ステップ入力の間で、TIMERボタンを押して250msの間隔を入力してください。この操作はひとつのステップとして登録されます。

操作ステップの順番について

お使いの機器によっては、連続したりモコン信号を受信できない場合があります。例えば、通常テレビは電源オンの信号の直後には次の信号に反応しません。従って、テレビ電源オンとテレビ入力切換えの信号が連続していると機器がうまく作動しないことがあります。その場合は下の例のように、ふたつの信号の間に別の信号を入力してください。

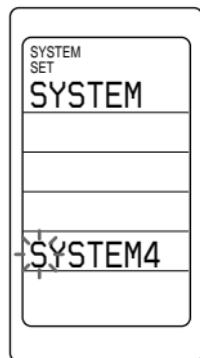
テレビ電源オン→ビデオ電源オン→ビデオ再生→テレビ入力切り換え

操作プログラムを実行する —システムコントロール機能— (つづき)

SYSTEMラベル(SONY OFF、SYSTEM2~12)の表 示を変更するには

システムコントロール機能の設定を行っているときに、SYSTEMラベルに文字を入力してお好みの名称を表示させることができます(最大8文字)。

- 1 37ページの手順5で、ラベル選択ボタンを2秒以上押し続け、表示を変更したいSYSTEMラベルを選ぶ(例: SYSTEM4)。選んだSYSTEMラベルが入力可能な状態になります。



- 2 SYSTEMラベルに文字を入力する。29ページの手順3~5と同様の手順で操作してください。
- 3 SETボタンを押す。本機は38ページの手順6になります。

SYSTEMラベルに登録したシステムマクロを消去するには37ページの手順5で、システムマクロを消去したいSYSTEMラベルの選択ボタンを押しながらSCROLLボタンを押します。(システムマクロが登録されているSYSTEMラベルは点灯しています。)

「CLEAR OK」が表示され、「ピー」という音とともにシステムマクロの消去が完了します。システムマクロを消去したSYSTEMラベルは点滅し、登録可能なラベルになります。

ラベルの表示が変更されている場合 は

ラベルに入力した文字内容を消去するには、上記の操作をもう一度行ってください。入力した文字内容は消去され、ラベルの表示は、工場出荷時の状態に戻ります。

**SONY OFFラベルに上書きしたシ
ステムマクロを消去する場合は**
上記の操作を行えば、SONY OFFラベルに上書きしたシステムマクロを消去することができます。SONY OFFラベルの設定は工場出荷時の状態に戻ります。

SONY OFFラベルの表示が変更されている場合は、上記の操作をもう一度行えば、入力した文字内容は消去され、ラベルの表示は、「SONY OFF」に戻ります。

ご注意

システムマクロが登録されているSYSTEMラベルを選択すると、NG音が鳴ります。そこでラベル選択ボタンを離してしまうと、システムマクロは消去されず、システムマクロの信号が

出力されます。

システムコントロール機能についてのご注意

- お使いのそれぞれの機器のリモコン受光部が離れすぎていたり、受光部がふさがれていると、SYSTEMラベルを選択しても、機器の連続した操作ができない場合があります。
- 上記または他の理由で機器の操作がうまくできなかつた場合は、必ずすべての機器を、SYSTEMラベルを選択する前の状態に戻しておいてください。そのまま続けると、再びSYSTEMラベルを選択したときに、機器が正常に動作しません。
- お使いの機器によっては、電源オン／オフのリモコン信号を受光するたびに、交互に電源が入ったり切れたりするため、本機のシステムコントロール機能では電源が入らない場合があります。システムコントロール機能をお使いになる前に、機器の電源オン／オフの状態を確認してください。

SYSTEMラベルに登録した操作プログラムを消去するには

SYSTEMラベルに登録した操作プログラム（システムマクロ）を消去するには次の手順で操作します。

1 SETボタンを1秒以上押し続ける。

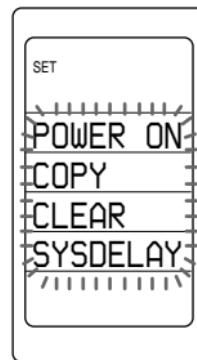


「SET」が表示されます。

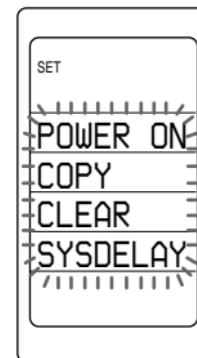
2 SCROLLボタンを2回押してラベルに「CLEAR」を表示させる。



2回押す



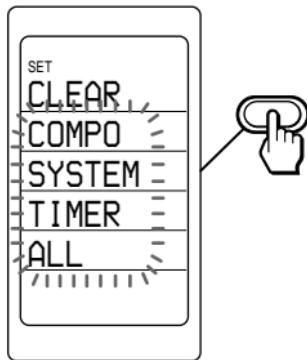
3 ラベル選択ボタンを押して「CLEAR」を選ぶ。



進んだ使いかた

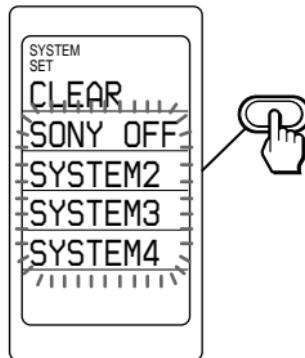
操作プログラムを実行する —システムコントロール機能— (つづき)

4 ラベル選択ボタンを押して 「SYSTEM」を選ぶ。

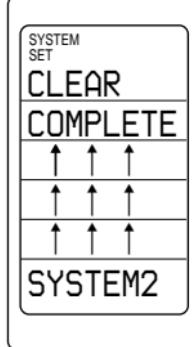


SYSTEMラベル(SONY OFF、SYSTEM2~12)が表示されます。SYSTEMラベルの表示を切り換えるには、SCROLLボタンを何回か押します。

5 ラベル選択ボタンを押して、消去したい操作プログラムが登録されているSYSTEMラベルを選ぶ。



消去中



消去が完了すると「ピー」という音とともに「COMPLETE」が表示されます。

他のSYSTEMラベルに登録した
内容を消去するには
手順5を繰り返します。

6 SETボタンを押す。

本機の画面はひとつ前に戻ります。

機器選択ラベルに操作プログラム(コンポーネントマクロ)を登録する

システムコントロール機能を使って、SYSTEMラベルと同じように、最大32個の操作ステップのプログラム(コンポーネントマクロ)を機器選択ラベルにも登録することができます。

システムコントロール機能で機器選択ラベルに登録したプログラムを実行するには、次の手順で操作します。

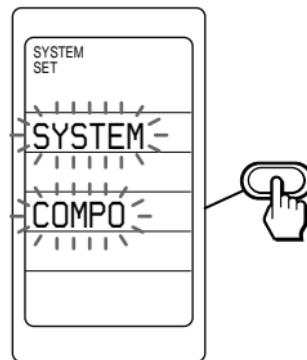
1 機器操作の画面が表示されているとき(表示されていない場合はSETボタンを何回か押す。) COMPOボタンを押す。

2 ラベル選択ボタンを1秒以上押し続け、機器選択ラベルを選ぶ。

ご注意

- ・システムコントロール機能により登録したプログラムは、機器選択ラベルの選択ボタンを1秒以上押し続けると実行されます。1秒より短く押すと、通常の機器選択ラベルの機能が働き、その機器の操作ラベルが表示されます。
- ・コンポーネントマクロの実行開始までの時間は設定によって変えることができます(46ページ)。
- ・39ページの「操作ステップの間隔について」と41ページの「システムコントロール機能についてのご注意」もご覧ください。

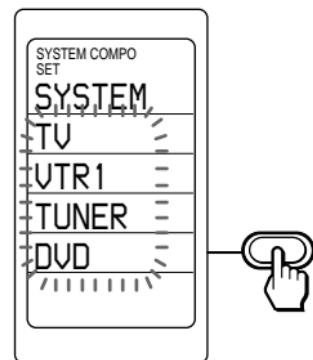
1 37ページの手順4で、ラベル選択ボタンを押して「COMPO」を選ぶ。



機器選択ラベルが表示されます。コンポーネントマクロが登録されているラベルは点灯し、その他のラベルは点滅します。

進
ん
だ
使
い
か
た

2 ラベル選択ボタンを押して、コンポーネントマクロを登録する機器選択ラベルを選ぶ(例: DVD)。



3 38ページの手順6~8と同様の操作で、操作プログラムを入力する。

操作プログラムを実行する —システムコントロール機能— (つづき)

4 SETボタンを押す。

「ピー」という音とともに操作プログラムの登録が終了します。

本機の画面は手順2に戻ります。

ご注意

- ・電源オンのプログラム(47ページ)が設定されている機器選択ラベルにもコンポーネントマクロを登録することができます。
- ・コンポーネントマクロが登録されている機器選択ラベルに電源オンのプログラム(47ページ)も設定することができます。
- ・設定操作の途中で2分以上放置すると、その時点で設定が解除され、機器操作の画面が表示されます。
- ・システムコントロール機能によってコンポーネントマクロが登録された機器選択ラベルに関連した機器のメーカー設定(13ページ)を変えたり、登録した操作ボタン / ラベルに学習信号(24ページ)を記憶させた場合、機器選択ラベルを選択すると、新しい信号が送信されます。

機器選択ラベルに登録したコンポーネントマクロを消去するには

43ページの手順2で、コンポーネントマクロを消去したい機器選択ラベルの選択ボタンを押しながらSCROLLボタンを押します。(コンポーネントマクロが登録されているラベルは点灯しています。)「CLEAR OK」が表示され、「ピー」という音とともにコンポーネントマクロが消去されます。

ご注意

コンポーネントマクロが登録されている機器選択ラベルを選択すると、NG音が鳴ります。そこでラベル選択ボタンを離してしまうと、コンポーネントマクロは消去されず、コンポーネントマクロの信号が出力されます。

操作ステップの間隔を変更する

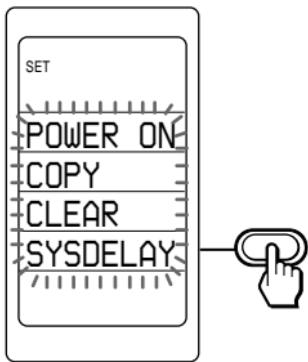
システムコントロール機能(36ページ)またはタイマー機能(54ページ)を使って登録したプログラムの各操作ステップの間隔を、150~900msの間で250msごとに変更することができます。

(1ms : 1/1000 秒)

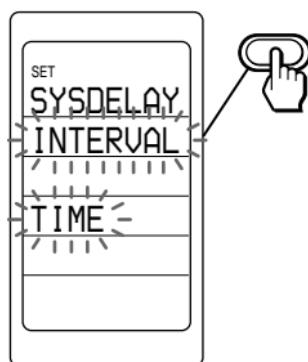
1 SETボタンを1秒以上押し続ける。

2 SCROLLボタンを2回押してラベルに「SYSDELAY」を表示させる。

3 ラベル選択ボタンを押して「SYSDELAY」を選ぶ。

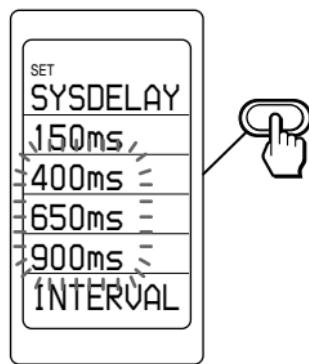


4 ラベル選択ボタンを押して「INTERVAL」を選ぶ。

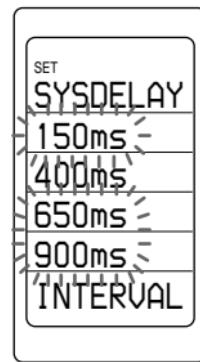


現在設定されている操作ステップの間隔が点灯します。工場出荷時は150 msに設定されています。

5 ラベル選択ボタンを押して、操作ステップの間隔を選ぶ。



「ピー」という音とともに設定が変更されます。



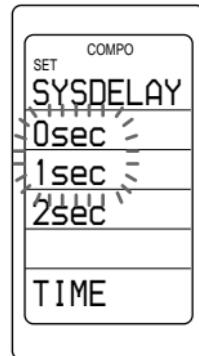
6 SETボタンを押す。

本機の画面は手順4に戻ります。

操作プログラムを実行する —システムコントロール機能— (つづき)

コンポーネントマクロの 実行時間を変更する

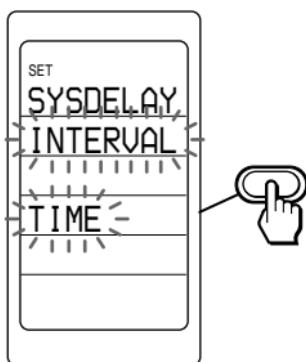
コンポーネントマクロ(43ページ)のプログラム実行までの時間を調整することができます。



1 45ページの手順1~3の操作をする。

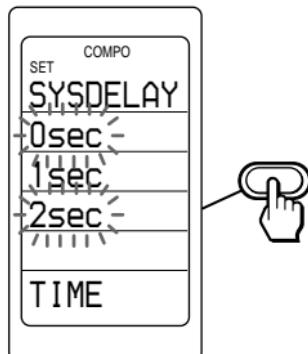
2 ラベル選択ボタンを押して「TIME」を選ぶ。

4 SETボタンを押す。
本機の画面は手順2に戻ります。



現在設定されているコンポーネントマクロの実行時間が点灯します。工場出荷時は1sec(秒)に設定されています。

3 ラベル選択ボタンを押して、コンポーネントマクロの実行時間を選ぶ。

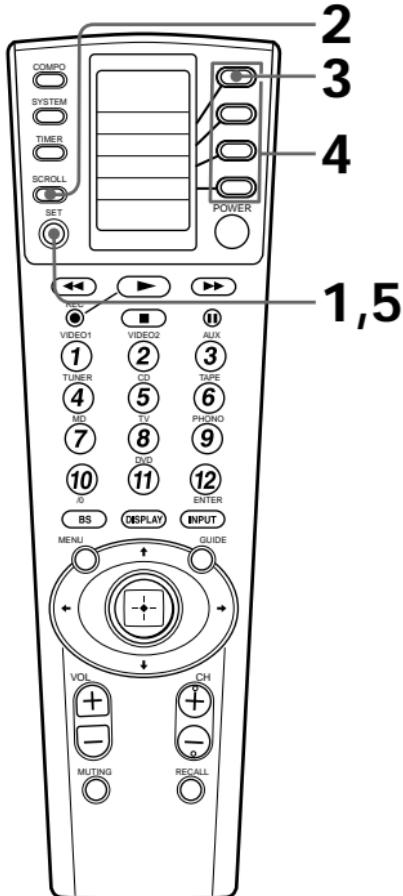


「ピー」という音とともに設定が変更されます。

機器選択ラベルの機能を拡張する

機器を選択すると同時に選んだ機器の電源が入るように設定する(ソニー製品のみ)

機器選択ラベルキーにソニー製品の電源オンのプログラム設定を追加することができます。COMPOボタンを押して、ラベル選択ボタンで機器選択ラベルを選ぶと、選択した機器の電源が入ります。



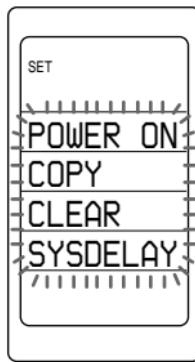
例: DVDラベルに電源オン機能を設定する

1 SETボタンを1秒以上押し続ける。

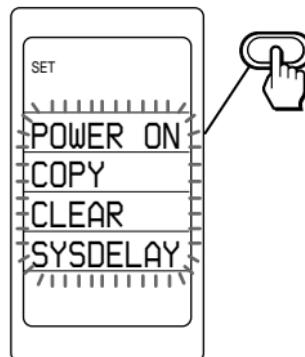


「SET」が表示されます。

2 SCROLLボタンを2回押してラベルに「POWER ON」を表示させる。



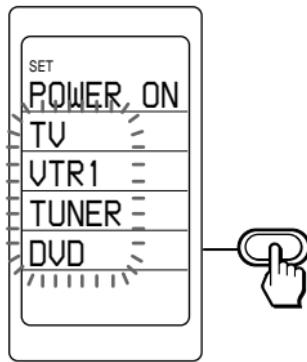
3 ラベル選択ボタンを押して「POWER ON」を選ぶ。



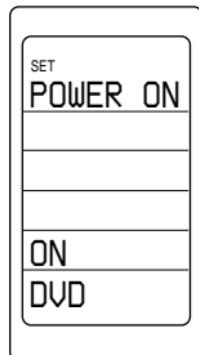
機器選択ラベルの機能を拡張する (つづき)

「POWER ON」および機器選択ラベルが表示されます。
電源オンのプログラム設定ができるソニー製品の機器の名称が点滅し、その他の機器の名称は点灯します。

4 ラベル選択ボタンを押して、電源オンのプログラム設定をする機器を選ぶ。 (機器選択ラベルを切り換えるには、SCROLLボタンを何回か押します。)



画面下部に選んだ機器の名称が表示され、「ピー」という音とともに「ON」が表示されます。



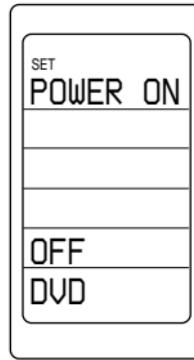
本機の画面は手順4に戻ります。

電源オンのプログラム設定をすることはできない機器を選ぶと「NG」が表示され、NG音が2回鳴ります。本機の画面は手順4に戻ります。

5 SETボタンを押す。

本機の画面はひとつ前に戻ります。

電源オンのプログラム設定を消去するには
47~48ページの手順1~5をもう一度行います。
画面下部に選んだ機器の名称が表示され、「ピー」という音とともに「OFF」が表示されます。



ご注意

- ソニー以外のメーカー番号を設定している機器選択ラベルには、電源オンのプログラムは設定できません。
- コンポーネントマクロ(43ページ)が登録されている機器選択ラベルに電源オンのプログラムも設定することができます。
- すでに電源オンのプログラム設定をした機器選択ラベルにコンポーネントマクロの設定をすると、機器選択ラベルを選択したときに、設定されている電源オンのプログラムが働きます。

機器選択ラベルの表示と違う機器を設定する

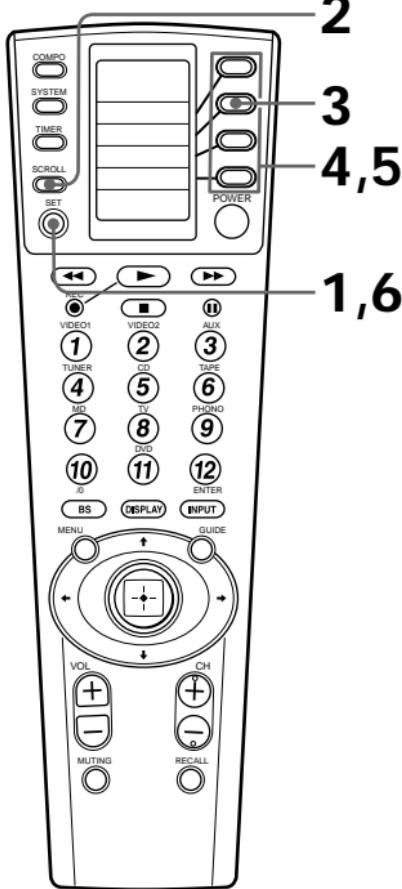
機器選択ラベルに他の機器の操作設定をコピーする

機器選択ラベルに、他の機器選択ラベルの操作設定をコピーすることができます。メーカー設定(13ページ)、チャンネルマクロ機能(51ページ)、学習機能(24ページ)、コンポーネントマクロ機能(43ページ)、電源オンのプログラム設定(47ページ)、および文字内容が他のラベルにコピーされます。

ご注意

- 学習信号やチャンネルマクロ機能、コンポーネントマクロ機能が登録されている機器選択ラベルには、他の機器選択ラベルの操作設定をコピーすることができません。(「NG」が点滅します。)
- 文字内容は、他の機器選択ラベルに上書きされます。
- 学習信号が多く設定されている機器をコピーする場合は、コピーが完了するまでに時間がかかることがあります。

進んだ使いかた



例：DVDラベルの操作設定をVTR1ラベルへコピーするには

- 1 SETボタンを1秒以上押し続ける。



「SET」が表示されます。

- 2 SCROLLボタンを2回押してラベルに「COPY」を表示させる。

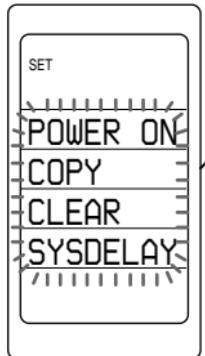


2回押す

次のページへつづく

機器選択ラベルの表示と違う機器を設定する(つづき)

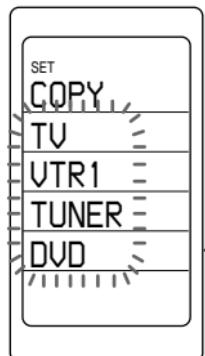
3 ラベル選択ボタンを押して「COPY」を選ぶ。



「COPY」および機器選択ラベルが表示される。

4 ラベル選択ボタンを押して、コピーしたい設定内容が登録されている機器選択ラベルを選ぶ。

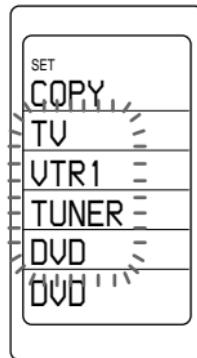
(機器選択ラベルを切り換えるには、SCROLLボタンを何回か押します。)



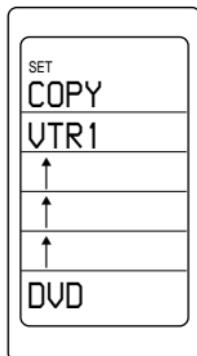
画面下部に選んだ機器の名称が表示されます。

5 ラベル選択ボタンを押して、コピー先の機器選択ラベルを選ぶ。

(機器選択ラベルを切り換えるには、SCROLLボタンを何回か押します。)



選んだ機器の名称が、一番上のラベルに表示され、コピーが始まります。



「ピー」という音とともにコピーが終了します。

チャンネルマクロ機能、学習信号、またはコンポーネントマクロ機能が設定されている機器選択ラベルをコピー先に選ぶと「NG」が表示され、NG音が2回鳴ります。本機の画面は手順5に戻ります。

6 SETボタンを押す。

本機の画面はひとつ前に戻ります。

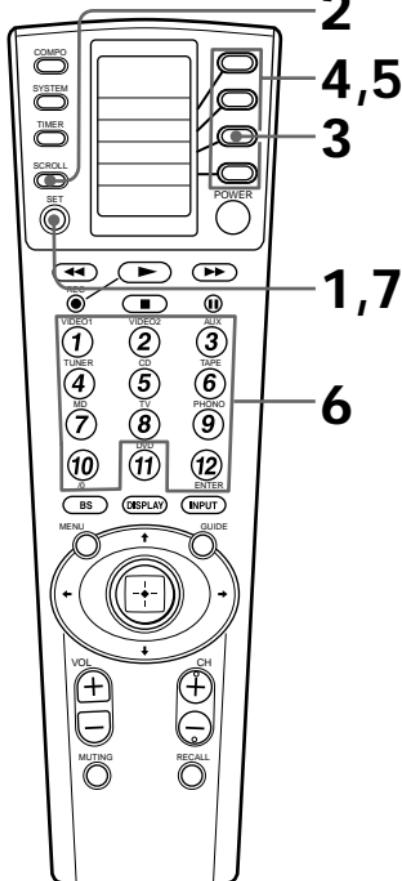
コピー先の機器選択ラベルを工場出荷時の設定に戻すには

20ページの「ある機器選択ラベルに登録した内容をすべて消去するには」の手順に従って操作してください。

ラベルひとつで選局する

—チャンネルマクロ機能—

4桁のメーカー番号(付属の「メーカー番号一覧表」参照)の最初の数字が3(TUNERとCATV)の機器は、チャンネルマクロ機能を使ってチャンネルマクロラベル(操作ラベル)にチャンネルマクロを登録することができます。例えば、チャンネルマクロラベル(操作ラベル)に123チャンネルを「1」「2」「3」「12/ENTER」と登録しておけば、次からはそのラベルの選択ボタンを押して選局することができます。



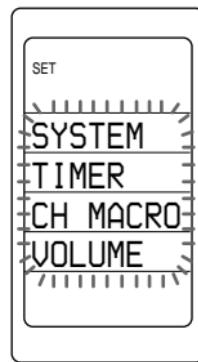
例: TUNERの123チャンネルをヨヤクイチラベルに登録するには

- 1 SETボタンを1秒以上押し続ける。

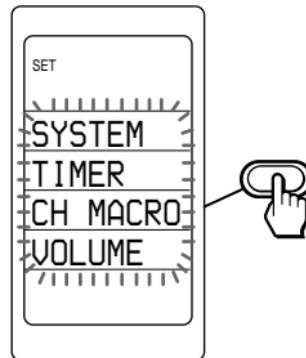


「SET」が表示されます。

- 2 SCROLLボタンを1回押してラベルに「CH MACRO」を表示させる。



- 3 ラベル選択ボタンを押して「CH MACRO」を選ぶ。



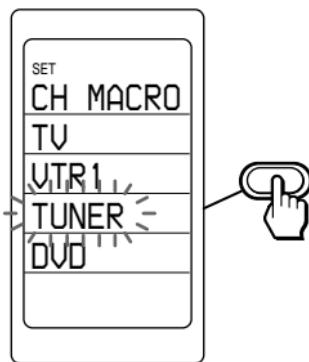
「CH MACRO」および機器選択ラベルが表示されます。

次のページへつづく

ラベルひとつで選局する —チャンネルマクロ機能—(つづき)

チャンネルマクロ機能を登録することができる機器選択ラベルが点滅します。機器選択ラベルを切り換えるにはSCROLLボタンを押します。

4 ラベル選択ボタンを押して、機器選択ラベルを選ぶ。

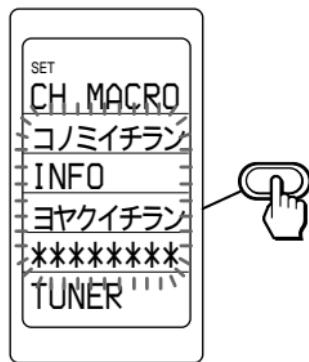


画面下部に選んだ機器の名称が表示され、チャンネルマクロラベル(操作ラベル)が点滅します。チャンネルマクロラベル(操作ラベル)を切り換えるにはSCROLLボタンを押します。



チャンネルマクロ機能を登録することができない機器選択ラベルを選ぶと
NG音が鳴ります。

5 ラベル選択ボタンを押して、チャンネルマクロラベル(操作ラベル)を選ぶ。



選んだラベルは点灯し、他のラベル表示は消えます。

チャンネルマクロ機能を登録することができないラベルを選ぶと
NG音が鳴ります。

6 数字ボタンを順番に押してから12/ENTERボタンを押す。

(例：1→2→3→12/ENTERボタン)

この例では、「123ENTER」が2回表示され、入力した数字が決定されます。

ご注意

- 3桁以下のチャンネルを登録する場合は、数字ボタンを順番に押してからSETボタンを押しても入力した数字が決定されます。
- 数字ボタンを4つ押すと、入力した4桁の数字がチャンネルとして決定されます。

7 SETボタンを押す。

本機の画面はひとつ前に戻ります。

ご注意

- 学習信号が登録されているチャンネルマクロラベル(操作ラベル)にはチャンネルマクロ機能を登録することはできません。他のチャンネルマクロラベル(操作ラベル)を選ぶか、学習信号を消去(31ページ)してからチャンネルマクロ機能を登録してください。
- チャンネルマクロは、数桁のチャンネル選局の手順を、ある一定の間隔で信号出力する機能です。そのため、ご使用の機種によってはうまく操作できない場合があります。

チャンネルマクロラベルの表示を変更するには

チャンネルマクロ機能の設定を行っているときに、チャンネルマクロラベルに文字を入力してお好みの名称を表示させることができます(最大8文字)。

- 52ページの手順5で、ラベル選択ボタンを2秒以上押し続け、表示を変更したいチャンネルマクロラベルを選ぶ(例:ヨヤクイチラン)。

選んだチャンネルマクロラベルが入力可能な状態になります。



2 チャンネルマクロラベルに文字を入力する。

29ページの手順3~5と同様の手順で操作してください。

3 SETボタンを押す。

本機は52ページの手順6になります。

ラベルに登録したチャンネルマクロを消去するには

52ページの手順5で、チャンネルマクロを消去したいラベルの選択ボタンを押しながらSCROLLボタンを押します。(チャンネルマクロが登録されているラベルは点灯しています。)

「CLEAR OK」が表示され、「ピー」という音とともにチャンネルマクロの消去が完了します。チャンネルマクロを消去したチャンネルラベルは点滅し、登録可能なラベルになります。

ラベルの表示が変更されている場合は

ラベルに入力した文字内容を消去するには、上記の操作をもう一度行ってください。入力した文字内容は消去され、ラベルの表示は、工場出荷時の状態に戻ります。

ご注意

チャンネルマクロが登録されているラベルを選択すると、NG音が鳴ります。

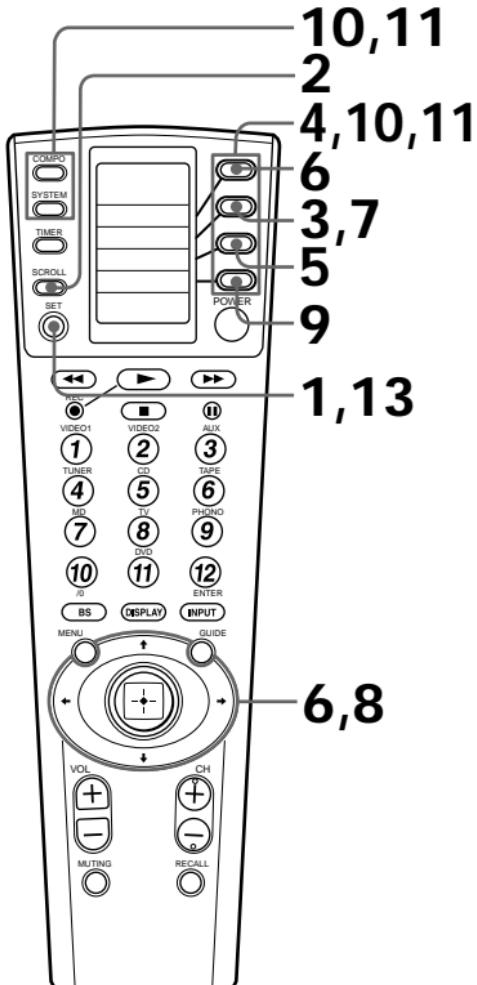
タイマーを設定する

タイマー機能を使って、最大12個のタイマープログラムにタイマーの働く曜日、時刻、実行するプログラムの内容(タイマーマクロ)を設定することができます。

タイマープログラムの設定には、次の2通りの方法があります。

- 新しいタイマープログラムを設定する
- 設定したプログラムや呼び出したプログラムを変更する(59ページ)

新しいタイマープログラムを設定する



例: PROG4ラベルに土曜日の午前7:30にタイマーが作動するように設定するには

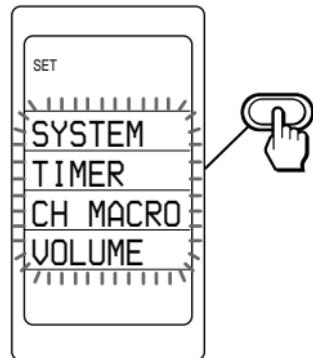
- 1 SETボタンを1秒以上押し続ける。



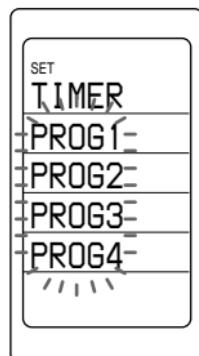
「SET」が表示されます。

- 2 SCROLLボタンを1回押してラベルに「TIMER」を表示させる。

- 3 ラベル選択ボタンを押して「TIMER」を選ぶ。



「TIMER」およびプログラム番号(PROG 1~12)がPROGラベルに表示されます。PROGラベルを切り換えるにはSCROLLボタンを何回か押します。

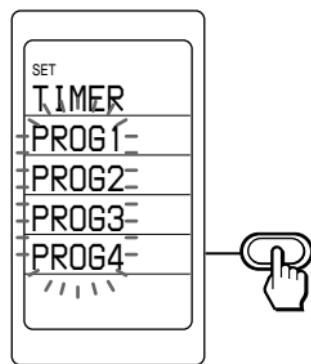


タイマーが実行されるように(待機状態)設定されたPROGラベルは点灯します。

タイマーが実行されないように設定されたPROGラベルは点滅します。

タイマープログラムが登録されていないPROGラベルは点滅します。

4 ラベル選択ボタンを押して、タイマープログラムを設定するPROGラベルを選ぶ。



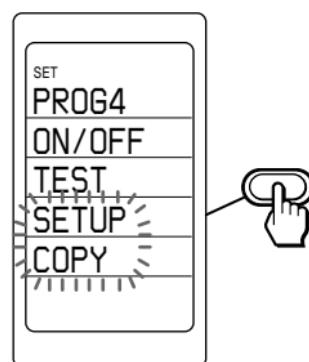
選んだPROGラベルのプログラム番号が表示されます。
(PROGラベルの表示をラベルの書き換えによって変更してある場合は、入力した文字が表示されます。)

選んだPROGラベルのプログラムが実行されるように(待機状態)設定されているときは、「ON/OFF」と「TEST」が点滅します。

選んだPROGラベルのプログラムが実行されないように設定されているときは、「ON/OFF」、「TEST」、「SETUP」および「COPY」が点滅します。

選んだPROGラベルにタイマープログラムが登録されていないときは、「SETUP」と「COPY」が点滅します。

5 ラベル選択ボタンを押して「SETUP」を選ぶ。

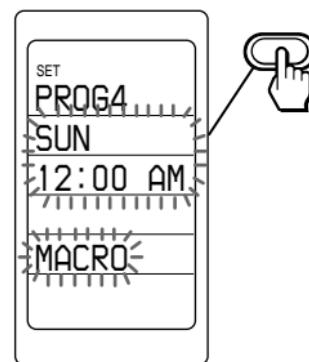


「SUN」、「12:00 AM」および「MACRO」が表示されます。

この設定操作で、タイマーが作動する曜日、時刻が設定されている場合、または、すでに設定したプログラムを呼び出して変更しようとしている場合は(59ページ) 設定された内容が表示されます。

曜日を設定するには：手順6へ
時刻を設定するには：手順7へ
タイマーマクロを設定するには：手順9へ

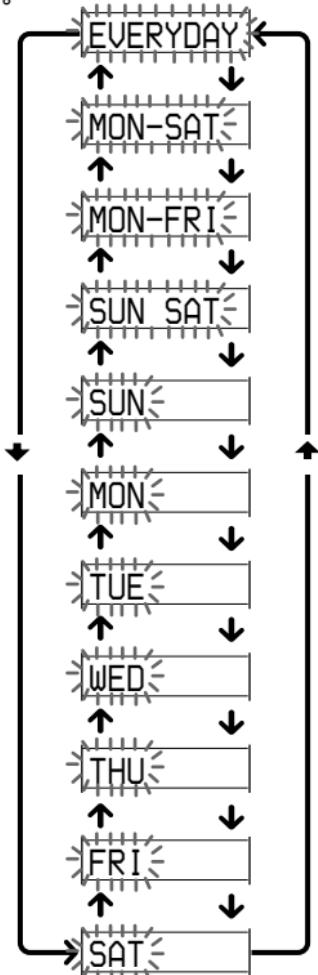
6 ラベル選択ボタンを押して、曜日のラベルを選ぶ(例：SUN)。



次のページへつづく

タイマーを設定する(つづき)

ジョイスティックを↑または↓の方へ押すたびに、曜日の表示が次のように変わります。



SUN : 日曜日

MON : 月曜日

TUE : 火曜日

WED : 水曜日

THU : 木曜日

FRI : 金曜日

SAT : 土曜日

MON-SAT : 月曜日～土曜日

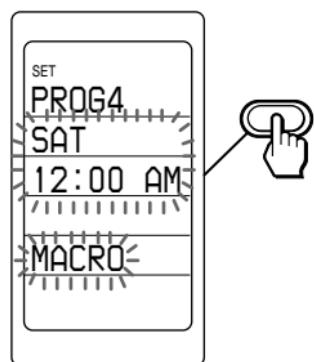
MON-FRI : 月曜日～金曜日

SUN SAT : 日曜日と土曜日

EVERYDAY : 毎日

曜日を選んだら、ジョイスティックを押して決定します。

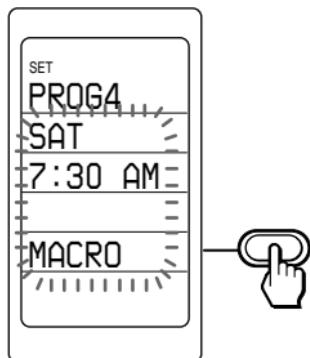
7 ラベル選択ボタンを押して、時刻のラベルを選ぶ(例: 12:00 AM)。



8 ジョイスティックを↑または↓の方へ押して「時」とAM/PMを選び(11ページの手順4参照)、ジョイスティックを→の方へ押して「分」の数字を点滅させる。次にジョイスティックを↑または↓の方へ押して「分」を選ぶ(12ページの手順5参照)。タイマー時刻を表示させたら(例: 7:30 AM)、ジョイスティックを押して決定する。

タイマー時刻を決定する前なら、ジョイスティックを←または→の方へ押して、「時」設定モードと「分」設定モードを切り換えることができます。

9 ラベル選択ボタンを押して、「MACRO」を選ぶ

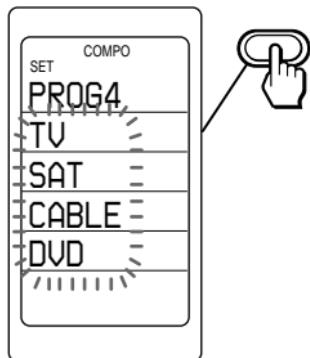


タイマープログラムの内容(タイマーマクロ)を設定するモードになります。

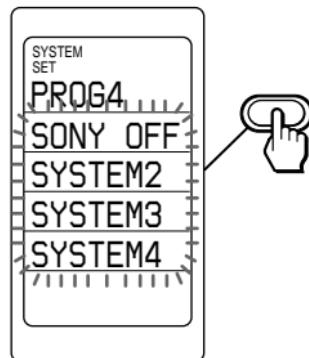
10 タイマーマクロに操作プログラムを登録する。

機器操作のプログラムを登録するには

ラベル選択ボタンを押して機器選択ラベルを選びます。操作ラベルが表示されます。(ラベルを切り換えるにはSCROLLボタンを押します。)手順11へ進んでください。

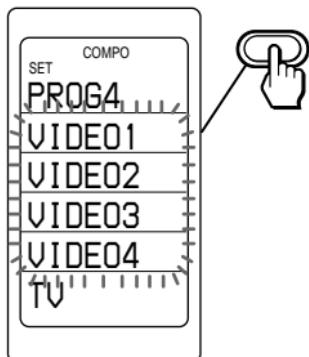


システムマクロを登録するには SYSTEMボタンを押します。 SYSTEMラベルが表示されます。(ラベルを切り換えるには SCROLLボタンを押します。) ラベル選択ボタンを押して、 SYSTEMラベルを選び、そのラベルに設定されているシステムマクロを登録します。手順12へ進んでください。



進んだ使いかた

11 ラベル選択ボタンまたはその他の操作ボタンを押して、操作ボタン / ラベルの機能を登録します。



ラベルを切り換えるには SCROLLボタンを押します。

他の機器の操作を登録する場合は

COMPOボタンを押して、手順10に戻って操作してください。

タイマーを設定する(つづき)

12手順10と11を繰り返す。

32個の操作ステップが登録されると、「ピー」という音とともに登録が終了し、本機の画面は手順6に戻ります。

ご注意

- ひとつのタイマーマクロには最大32個の操作ステップを登録することができます。
- ひとつのSYSTEMラベルに記憶させたシステムマクロは、ひとつのステップとして登録されます。
- 操作ステップの間隔は変更することができます(45ページ)。
- TIMERボタンを押すと、250msの間隔を挿入することができます。
- SCROLLボタンは操作ステップとしては数えられません。

13操作ステップの登録を終了するには、SETボタンを押す。

「ピー」という音とともに登録が終了し、本機の画面は手順6に戻ります。

SETボタンを押すたびに、本機の画面はひとつ前に戻ります。

プログラムの動作を確認したり、タイマーを実行待機状態にするには

61ページをご覧ください。

ご注意

- ひとつのタイマープログラムにはひとつのみ設定することができます。ある時刻に機器の電源オンの設定をして、またある時刻に電源オフの設定をしたい場合は、別々に2つのタイマー設定を行ってください。
- 同じ時刻に実行されるいくつかのタイマープログラムが設定された場合、プログラム番号の小さい順に動作が開始されます。
- タイマー設定で操作された機器の状態によっては、次に設定されたタイマープログラムでは、機器がうまく動作しない場合があります。タイマー設定をする場合は、他のタイマープログラムの設定内容に注意して設定してください。
- タイマープログラムの実行内容により、本機のリモコン信号出力の実行時間が異なるため、タイマー設定した時刻には実行されないプログラムもあります。また、タイマープログラムの実行中に、もうひとつのタイマープログラムの実行時刻になった場合、先に実行中のプログラムが終了してから、もうひとつのタイマープログラムが開始されます。その場合も、プログラムはタイマー設定した時刻には実行されません。そのため、プログラム内容とタイマー実行時間の長さを考えてタイマー設定をしてください。

PROGラベル(PROG1~12)の表示を変更するには

タイマー設定を行っているときに、PROGラベルに文字を入力して、お好みの名称を表示させることができます(最大8文字)。

155ページの手順4で、ラベル選択ボタンを2秒以上押し続け、表示を変更したいPROGラベルを選ぶ(例: PROG4)。選んだPROGラベルが入力可能な状態になります。



2 PROGラベルに文字を入力する。

29ページの手順3~5と同様の手順で操作してください。

3 SETボタンを押す。

本機は55ページの手順5になります。

タイマーマクロに登録された操作ステップの間隔を変更するには

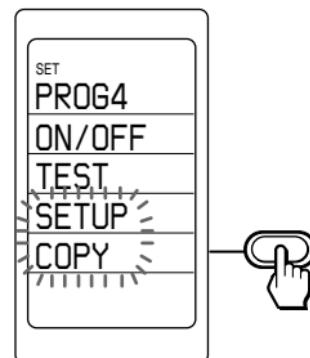
45ページをご覧ください。

設定したプログラムや呼び出したプログラムを変更する

1 54~55ページの手順1~4の操作をする。

画面上部に表示されているプログラム番号(例: PROG4)にすでに設定した内容を変更したい場合は、60ページの手順5へ進んでください。

2 ラベル選択ボタンを押して「COPY」を選ぶ。



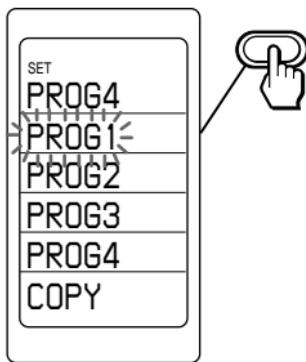
画面下部に「COPY」が表示され、PROGラベル(PROG1~12)が表示されます。タイマープログラムが設定されているプログラム番号のPROGラベルは点滅します。

3 SCROLLボタンを何回か押して、設定内容を変更したいPROGラベルを表示させる。

進んだ使いかた

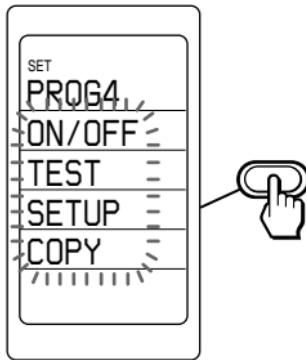
タイマーを設定する(つづき)

4 ラベル選択ボタンを押して、設定内容を変更したいPROGラベルを選ぶ。

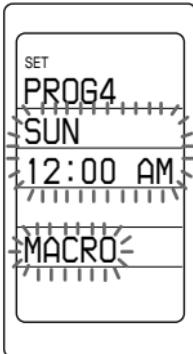


「ピー」という音とともに、選んだPROGラベル(例：PROG1)に設定されている内容が、画面上部に表示されているプログラム番号(例：PROG4)にコピーされます。

5 ラベル選択ボタンを押して「SETUP」を選ぶ。



本機はタイマーを設定するモードになります。



6 ラベル選択ボタンを押して、設定内容を変更したい項目のラベルを選ぶ。

曜日：55ページの手順6に従って操作してください。

時刻：56ページの手順7、8に従って操作してください。

MACRO(タイマーマクロ)：画面は次のようにになります(表示例)。



7 ラベル選択ボタンを押して、「OK?」を選ぶ。

「ピー」という音とともに、設定されていたタイマーマクロが消去され、本機はタイマーマクロを設定するモードになります。57ページの手順10に従って操作してください。

「NG?」を選ぶと手順5に戻ります。

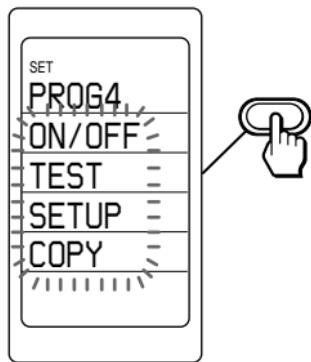
ちょっと一言

タイマーマクロの内容は部分的に変更することはできません。よく使う操作手順を消さずにプログラムを変更したい場合は、システムコントロール機能(36ページ)を使います。例えば、5個の操作ステップをタイマーマクロに設定したいときに、1番目から4番目の操作ステップはよく使う操作手順である場合、まず、1番目から4番目の操作ステップをシステムコントロール機能を使って、システムマクロに登録します。次に、そのシステムマクロと5番目の操作ステップを順にタイマーマクロに設定します。

プログラムの動作を確認するには

1 54~55ページの手順1~4の操作をする。

2 ラベル選択ボタンを押して、「TEST」を選ぶ。



実際にタイマーマクロに登録された信号が送信され、プログラムの動作を確認することができます。

3 SETボタンを押す。

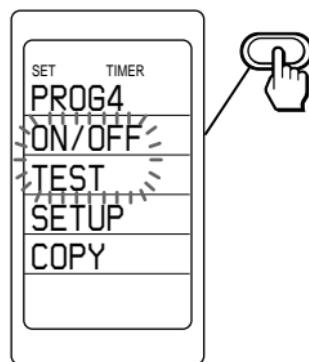
本機の画面はひとつ前に戻ります。

タイマー待機状態のオン / オフを設定するには

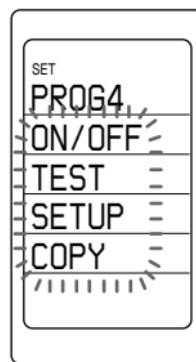
1 55ページの手順4で、ラベル選択ボタンを押して、タイマープログラムが登録されているPROGラベルを選ぶ。

2 ラベル選択ボタンを押して、「ON/OFF」を選ぶ。タイマー待機状態のオン / オフは次のように切り換わります。

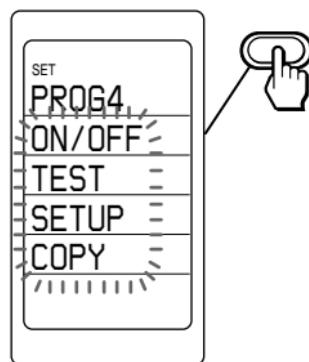
選んだPROGラベルに登録されているタイマーが実行されるように設定されているとき(待機状態オン)



タイマー待機状態が解除されてオフになります。

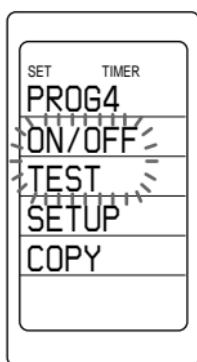


選んだPROGラベルに登録されているタイマーが実行されないように設定されているとき(待機状態オフ)



タイマー待機状態がオフになります。

タイマーを設定する(つづき)



3 SETボタンを押す。

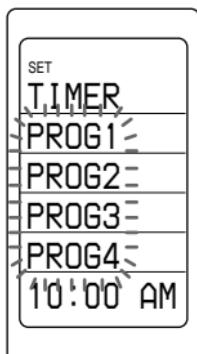
本機の画面はひとつ前に戻ります。

簡単にタイマー待機状態のオン/オフを設定するには

1 機器操作の画面が表示されているときに(表示されていない場合はSETボタンを何回か押す。)TIMERボタンを押す。



「TIMER」およびPROGラベルが表示されます。(PROGラベルを切り換えるにはSCROLLボタンを押します。)



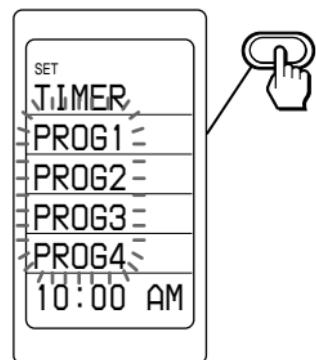
タイマーが実行されるように(待機状態)設定されたPROGラベルは点灯します。

タイマーが実行されないよう設定されたPROGラベルは点滅します。

タイマープログラムが登録されていないPROGラベルは点滅します。

2 ラベル選択ボタンを押して、タイマー待機状態のオン/オフを切り換えるたいPROGラベルを選ぶ。

ラベル選択ボタンを押すたびに、PROGラベルに登録されているタイマープログラムの待機状態のオン/オフが切り換わります。



タイマープログラムが登録されていないPROGラベルを選ぶとNG音が鳴ります。

3 タイマー待機状態のオン/オフの設定が終わったら、SCROLLボタンとラベル選択ボタン以外のボタンを押す。

機器操作の画面になります。

タイマー待機状態がオンになっているプログラムがあると、画面上部に小さく「TIMER」と表示されます。

ご注意

- ・タイマープログラムが設定されていないPROGラベルが選択されているときにTESTラベルまたはON/OFFラベルを選択すると、NG音が2回鳴ります。
- ・本機のタイマー機能は、待機状態を解除しない限り、同じ曜日に毎週実行されます。タイマーを一度だけ実行させたい場合は、タイマーが実行されたら、待機状態を解除してください。

⚠ 警告

本機のタイマー機能は、AV機器の操作用に設計されています。タイマー機能を冷暖房機器または電気器具などのAV機器以外の機器にお使いにならないでください。火災や大けがなどの原因となります。

PROGラベルに登録したタイマープログラムを消去するには

PROGラベルに登録したタイマープログラム(タイマーマクロ)を消去するには次の手順で操作します。

1 SETボタンを1秒以上押し続ける。

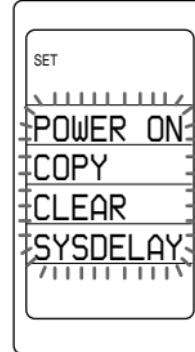


「SET」が表示されます。

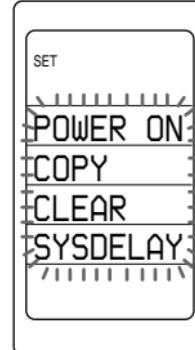
2 SCROLLボタンを2回押してラベルに「CLEAR」を表示させる。



2回押す



3 ラベル選択ボタンを押して「CLEAR」を選ぶ。

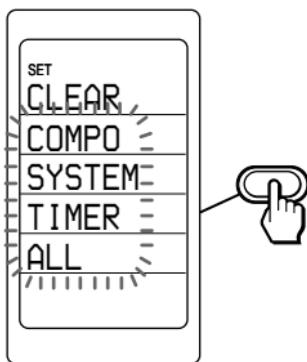


[次のページへつづく](#)

タイマーを設定する(つづき)

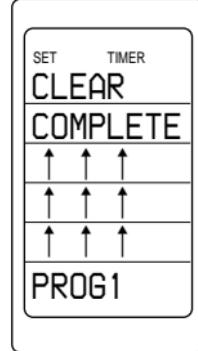
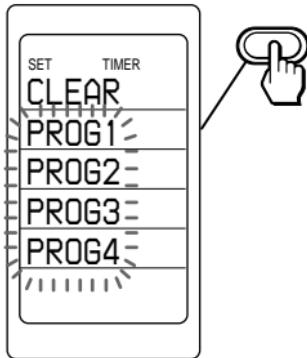
消去中

- 4 ラベル選択ボタンを押して「TIMER」を選ぶ。



PROGラベル(PROG 1~12)が表示されます。PROGラベルの表示を切り換えるには、SCROLLボタンを何回か押します。

- 5 ラベル選択ボタンを押して、登録したタイマープログラムを消去したいPROGラベルを選ぶ。



消去が完了すると「ピー」という音とともに「COMPLETE」が表示されます。

他のPROGラベルに登録した内容を消去するには
手順5を繰り返します。

- 6 SETボタンを押す。

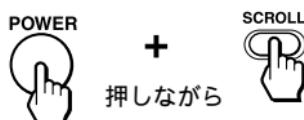
本機の画面はひとつ前に戻ります。

リモコンをロックする

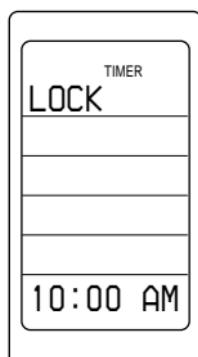
—ホールド機能—

誤操作を防ぐために、すべてのボタンをロックすることができます。リモコンがロックされていても、設定されたタイマー機能は働きます。

POWERボタンを押しながらSCROLLボタンを押す。



「ピー」という音とともに「LOCK」が表示され、時計表示と「LOCK」以外の表示は消えます。タイマー設定が待機状態のときは、画面上部に小さく「TIMER」と表示されます。



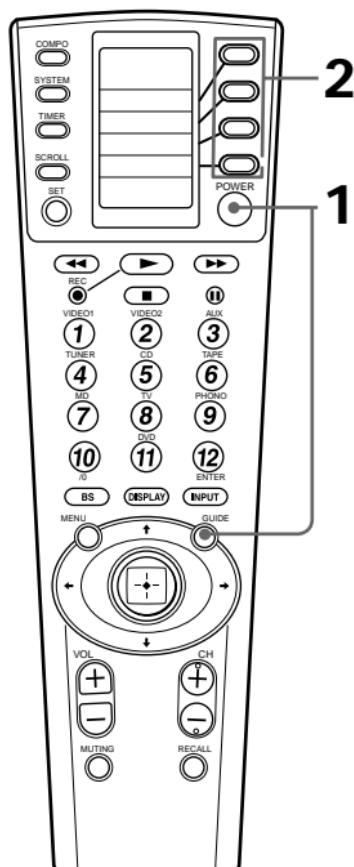
ホールド機能が働いているとリモコンのボタンを押しても(POWERボタンとSCROLLボタンを同時に押したとき以外は)リモコンを操作することはできません。

ホールド機能を解除するには

POWERボタンを押しながらSCROLLボタンを押します。キータッチ音とともに画面はホールド機能が働く前の状態に戻ります。

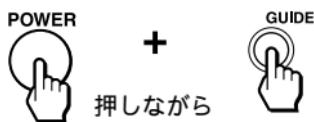
画面のバックライトのオートオフ時間を調整する

本機の液晶画面のバックライトは、COMPO、SYSTEM、TIMER、SCROLLまたはSETボタンを操作した場合に点灯します。工場出荷時には、バックライトが点灯してから5秒間、上記のボタンを操作しないと、自動的にバックライトが消灯するように設定されています(バックライトのオートオフ機能)。バックライトのオートオフ時間は、0~60秒の間で変更することができます。

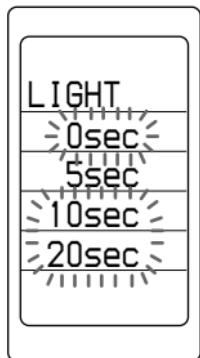


画面のバックライトのオートオフ時間を調整する(つづき)

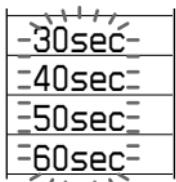
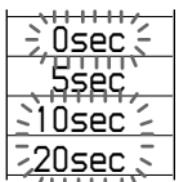
1 POWERボタンを押しながらGUIDEボタンを押す。



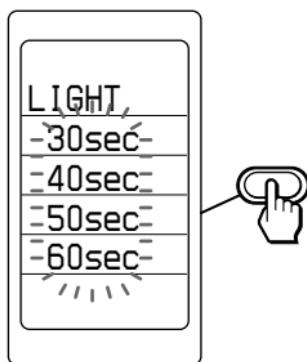
「LIGHT」が表示され、ラベルにはバックライトのオートオフ時間が表示されます。現在設定されているオートオフ時間が点灯し、その他の時間は点滅します。



ラベルを切り換えるには
SCROLLボタンを押します。
SCROLLボタンを押すたびに
ラベルは次のように切り換わります。



2 ラベル選択ボタンを押して、バックライトのオートオフ時間を選ぶ。



選んだ時間が表示されます。

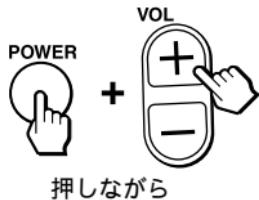


「ピー」という音とともに、
バックライトのオートオフ時間が決定され、設定が終了します。

キータッチ音の設定をする

本機は工場出荷時には、ボタンを押すとキータッチ音が鳴るように設定されていますが、この音を消すこともできます。

- 1** キータッチ音が鳴るように設定するには、POWERボタンを押しながらVOL + ボタンを押す。



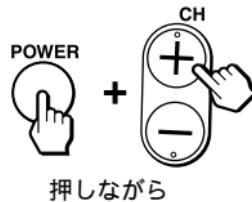
- 2** キータッチ音が鳴らないように設定するにはPOWERボタンを押しながらVOL - ボタンを押す。



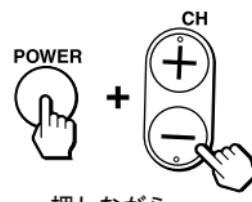
画面のコントラストを調整する

画面の液晶表示のコントラスト（濃さ）を調整することができます。

- 1** コントラストを濃くするには、POWERボタンを押しながらCH + ボタンを押す。

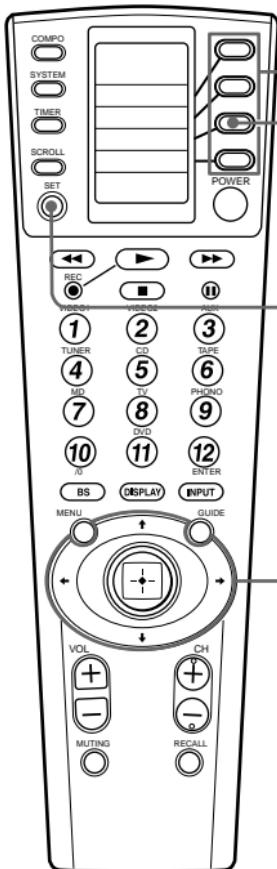


- 2** コントラストを薄くするには、POWERボタンを押ししながらCH - ボタンを押す。



ラベルの表示を変更する

機器選択ラベル、各機器の操作ラベル、システムマクロのラベル(SONY OFF、SYSTEM2~12)およびタイマーマクロのラベル(PROG1~12)の表示の変更ができます。それぞれ最大8文字まで(アルファベット、数字、記号、カタカナ)入力して、お好みの名称を表示させることができます。

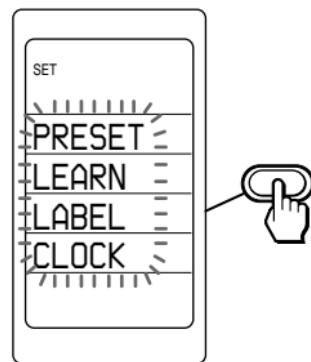


1 SETボタンを1秒以上押し続ける。

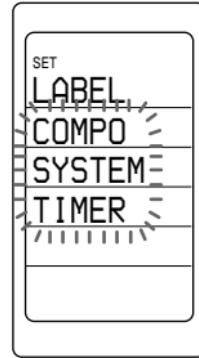


「SET」が表示されます。

2 ラベル選択ボタンを押して「LABEL」を選ぶ。



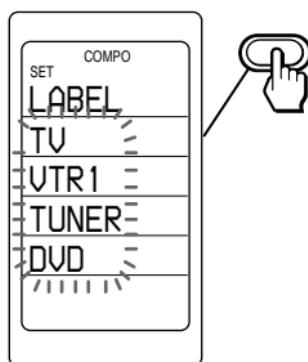
本機はラベル入力設定モードになります。



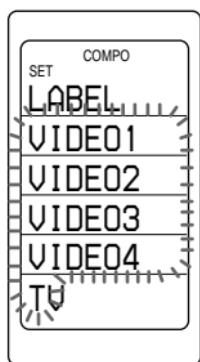
3 ラベル選択ボタンを押して、ラベル(COMPO、SYSTEMまたはTIMER)を選ぶ。

COMPO :

機器選択ラベルが表示されます。ラベルを切り換えるにはSCROLLボタンを押します。ラベル選択ボタンを押して、機器の名称を変更したいラベルを選びます(例:TV)。(ラベルを切り換えるにはSCROLLボタンを押します。)



選んだ機器の名称が画面下部に表示され、本機は機器の名称を変更できるモードになります。手順4へ進みます。

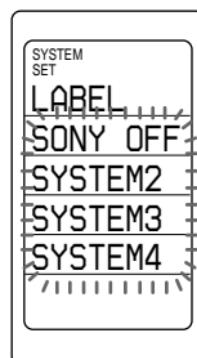
**各機器の操作ラベルの表示を変更するには**

機器を選択してから(例:TV) ラベル選択ボタンを押して、表示を変更したい操作ラベルを選びます(例:VIDEO3)。(ラベルを切り換えるにはSCROLLボタンを押します。)

選んだ操作ラベルが表示され、操作ラベルの表示を変更できるモードになります。手順4へ進みます。

**SYSTEM :**

システムマクロのラベル(SONY OFF、SYSTEM2~12)が表示されます。ラベル選択ボタンを押して、表示を変更したいラベルを選びます(例:SYSTEM4)。(ラベルを切り換えるにはSCROLLボタンを押します。)



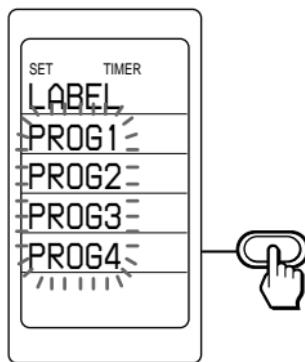
ラベルの表示を変更する(つづき)

選んだラベルの名称が画面下部に表示され、システムマクロのラベルの表示を変更できるモードになります。手順4へ進みます。



TIMER :

タイマーマクロのラベル(PROG1-12)が表示されます。ラベルを切り換えるには SCROLLボタンを押します。ラベル選択ボタンを押して、表示を変更したいラベルを選びます(例: PROG4)。(ラベルを切り換えるにはSCROLLボタンを押します。)



選んだラベルの名称が画面下部に表示され、タイマーマクロのラベルの表示を変更できるモードになります。手順4へ進みます。



4 ジョイスティックを↑、↓、←または→の方へ押して、ラベルに文字を入力する。

29ページの手順3~5に従って操作します。

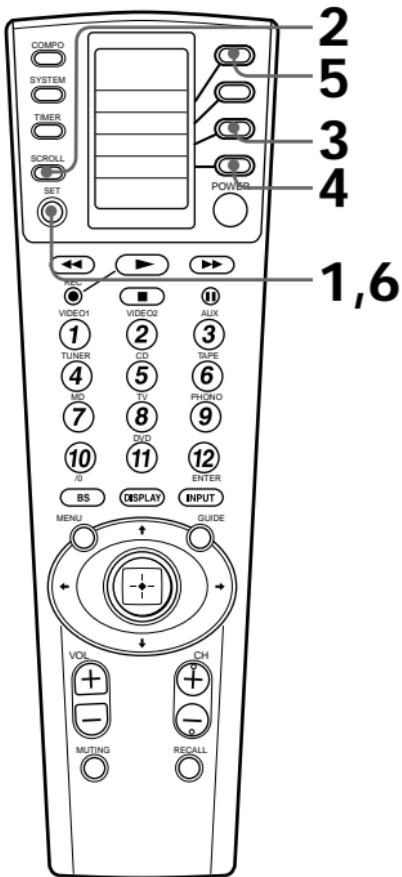
5 SETボタンを押す。

ラベルの表示が決定し、本機の画面はひとつ前に戻ります。

すべての設定内容 を消去する

—工場出荷状態に戻す—

すべての設定内容や学習機能によって記憶されたリモコン信号を消去し、本機を工場出荷時状態に戻すことができます。

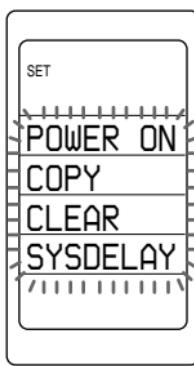


1 SETボタンを1秒以上押し続ける。

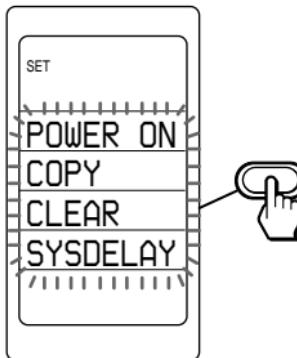


「SET」が表示されます。

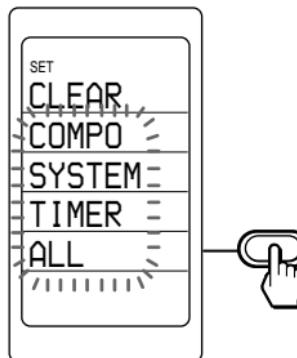
2 SCROLLボタンを2回押してラベルに「CLEAR」を表示させる。



3 ラベル選択ボタンを押して「CLEAR」を選ぶ。

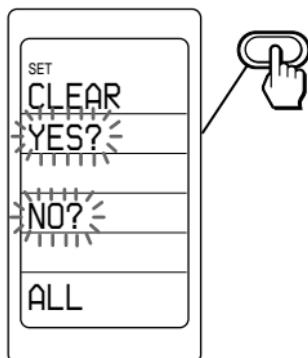


4 ラベル選択ボタンを押して「ALL」を選ぶ。

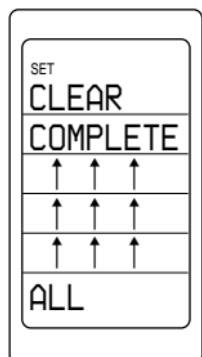


すべての設定内容を消去する
—工場出荷状態に戻す—
(つづき)

5 ラベル選択ボタンを押し
て、「YES?」を選ぶ。



消去中



消去が完了すると「ピー」とい
う音とともに「COMPLETE」
が表示され、本機は工場出荷
状態に戻ります。画面は手順4
に戻ります。

「NO?」ラベルを選ぶと
画面は手順4に戻ります。

6 SETボタンを押す。
本機の画面はひとつ前に戻り
ます。

正しくお使いいた だくために

使用上のご注意

- ・落としたり、衝撃を与えたるしないでください。故障の原因となることがあります。
- ・暖房器具のそばや直射日光のある場所、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
- ・操作する機器のリモコン受光部に、直射日光や強い照明があたらないようにしてください。リモコン操作ができない場合があります。
- ・このリモコンはオーディオ・ビデオ機器の操作に加えて、学習機能により冷暖房器具や電気器具なども操作できるため、幼児やペットが誤って操作すると火災や大けがなどの原因となります。

お手入れのしかた

リモコンの表面は、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布などで拭いてください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは、表面を傷めますので、使わないでください。

主な仕様

動作距離

約10m*(正面距離)

学習可能キー数

約550(ソニーリモコン信号にて)

学習可能ピット数

300ピット**

学習可能周波数

156kHz以下**

学習可能間隔

1秒以下**

電源

DC 3V、単3形乾電池2個

電池持続時間

約5か月(使用頻度で変わります)
(アルカリ乾電池使用時)

最大外形寸法

約69×217×30mm(幅×高さ×奥行き)(JEITA***)

質量

約189g(電池含む)

付属品

単3形乾電池(2)****

取扱説明書(1)

「メーカー番号一覧表」(1)

保証書(1)

* 使用機器のメーカー・機種によっては距離が変わる場合があります。

** 使用機器によっては学習できない場合もあります。

*** JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。

**** 付属のマンガン電池はお試し用です。

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

故障かな？とお考えになる前に

本機が正しく動作しないときは、まず電池を確認(9ページ)してから、下記の項目をチェックしてください。それでも正しく動作しないときは、お買い上げ店、ソニーサービス窓口、またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

症状	処置
リモコンでお手持ちの機器が操作できない	<ul style="list-style-type: none">操作する機器から離れすぎていませんか？10m以内の距離でリモコンを使ってください。操作する機器にリモコンを向けているか、操作する機器のリモコン受光部の前に障害物がないか確認してください。必要に応じて、まず操作する機器の電源を入れてください。正しい機器選択ラベルを選択しているか確認してください。機器選択ラベルにメーカー設定すると、登録したメーカー番号で機器が決定します。そのため、機器選択ラベルの名称と設定した機器の種類が異なる場合があります。その場合は、もう一度メーカー設定(13ページ)をし直してから、ラベルの機器の名称を変更する(68ページ)ことをおすすめします。お使いの機器が赤外線方式のリモコン対応かどうか確認してください。操作する機器にリモコンが付属されていない場合は、リモコンでは操作できないことがあります。選択した機器選択ボタンに別の機器の設定をした可能性があります。そのボタンに設定した機器やメーカー番号などを確認してください。
メーカー番号を設定しても操作できない	<ul style="list-style-type: none">正しいメーカー番号を設定しましたか？同じメーカーでも複数の番号がある場合は、付属の「メーカー番号一覧表」にある他の番号を設定してみてください。同じメーカーでも、機種によっては記憶されているものと異なるリモコン信号を使用している場合があります。メーカー番号を設定しても操作できないボタンがある場合は、学習機能でリモコン信号を記憶させてください(24ページ)。
音量調節ができない	<ul style="list-style-type: none">映像機器・オーディオ機器の音量調節が正しく設定されていますか？「オーディオシステムにつないだ映像機器の音量を調節する」(32ページ)を参照して正しく設定してください。
学習がうまくいかない	<ul style="list-style-type: none">双向リモコン(一部ソニー製のチューナーやアンプに装備)で学習する場合、アンプなどのメインユニット側の信号と干渉し、うまく学習できないことがあります。そのときは別の部屋に移るなどして操作をしてください。

症状	処置
学習機能で記憶させた操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> 正しく学習できなかった可能性があります。「正しく学習させるコツ」(30ページ)を参照して、もう一度学習をやり直してください(24ページ)。
「NG」が5回点滅する	<ul style="list-style-type: none"> 正しく学習できませんでした。次の項目を確認して、もう一度学習をやり直してください(24ページ)。 お使いの機器のリモコンと本機との距離を変えてみてください。 「LEARN」の点滅を確認してから学習させたい信号を入力してください。 「正しく学習させるコツ」(30ページ)を参照してください。
「NG」が2回点滅する	<ul style="list-style-type: none"> メーカー番号の設定ができませんでした。付属の「メーカー番号一覧表」を参照して、もう一度メーカー番号の設定をやり直してください。(13ページ)
NG音が2回鳴る	<ul style="list-style-type: none"> 学習機能(24ページ) チャンネルマクロ機能(51ページ)を設定するのに選択したラベルが学習機能によってリモコン信号を記憶しています。学習した内容を消去(20、31ページ)するか、学習していないほかのラベルを選択してから、もう一度設定操作をしてください。 チャンネルマクロ機能を設定することができない機器の機器選択ラベルを選択しようとしています。4桁のメーカー番号の最初の数字が3の機器だけが、チャンネルマクロ機能を設定することができます(51ページ)。 チャンネルマクロ機能(51ページ)を設定するのに選択したラベルが学習機能によってリモコン信号を記憶しているか、チャンネルマクロ機能が設定されています。学習信号およびチャンネルマクロ機能を消去(31、53ページ)するか、ほかのラベルキーを選択してから、もう一度設定操作をしてください。 他の機器選択ラベルの操作設定をコピー(49ページ)するのに選択した機器選択ラベルが学習機能によってリモコン信号を記憶しているか、チャンネルマクロ機能またはコンポーネントマクロ機能が設定されています。学習信号およびチャンネルマクロ機能またはコンポーネントマクロ機能を消去してから(31、44、53ページ)もう一度コピー操作をしてください。 実行待機状態のタイマープログラムを変更しようとしています。タイマープログラムは、実行待機状態に設定されていると変更できません。変更するためには待機状態を解除してから(62ページ)変更してください。

故障かな？とお考えになる前に(つづき)

症状	処置
学習操作をしているときには「NG」が表示される	<ul style="list-style-type: none">メモリー容量がいっぱいになってしまいか？ 使用頻度が低いボタン / ラベルに学習させた信号を消去(31ページ)してから、学習を行ってください。
機器選択ラベルの操作設定を他の機器選択ラベルにコピーしようとすると「NG」が表示される	<ul style="list-style-type: none">選択した機器選択ラベルに設定されている機器操作面に学習信号が記憶されているラベルがあります。コピー先に他の機器選択ラベルを選ぶか、学習信号を消去してからお使いください(31ページ)。
システムコントロール機能が正しく働かない	<ul style="list-style-type: none">操作プログラムを登録するときは、正しい順番で操作ステップを入力してください(36ページ)。本機の向きを変えてみてください。それでもシステムコントロール機能が正しく働かない場合は、操作するそれぞれの機器をできるだけ近づけてください。操作する機器がリモコンの信号を正しく受信する状態であることを確認してください(41ページ)。システムコントロール機能に登録した機器選択ラベルのメーカー設定を変えたり、または登録した操作ボタン / ラベルに学習信号を記憶させたりしていませんか？ その場合、システムコントロール機能を実行すると、新しく記憶されたリモコン信号が出力されます。操作ステップの間隔が短すぎます。「操作ステップの間隔を変更する」(45ページ)を参照して、操作ステップの間隔を長くするか、ラベルの入力の順番を変えて操作プログラムの調整をしてください。(システムコントロール機能のプログラムの設定をしているときにTIMERボタンを押して、間隔を作ることができます。)
本機のタイマーを使って操作しようとした機器がうまく動作しない	<ul style="list-style-type: none">タイマーで操作しようとする機器が本機からの信号を正しく受信していません。タイマーを使う場合は、次のことを確認してください。<ul style="list-style-type: none">タイマープログラムを設定したら、TESTラベルを選択してタイマーマクロが正しく機能するか確認してください(61ページ)。本機の設置場所を確認してください。タイマーで操作しようとする機器が適切な状態ではありません。 (例えば、タイマーが機能したときには機器の電源が切れていると想定して、電源オン設定をしたとします。しかし、機器の電源が入っている場合、本機からの信号を受信すると、機器の電源は切れてしまいます。)

症状	処置
すでに実行されたタイマープログラムが翌週にも実行される	・本機のタイマー機能は、いったん設定すると毎週タイマープログラムを繰り返します。タイマープログラムを一度だけ実行したい場合は、プログラムが実行された後、タイマー待機状態を解除してください(62ページ)。
リモコンを操作しようとすると、「BATT」と表示される	・電池が消耗し始めています。できるだけ早く新しい電池と交換してください(9ページ)。
時計が「-- : --」と表示される	・電池が交換されたか、消耗しています。電池が消耗している場合は、新しい電池と交換してください(9ページ)。電池交換をしても、設定した内容は記憶されています。電池交換以前の設定のままお使いになる場合は、時計合わせのみ行ってください(10ページ)。
画面に「LOCK」が表示され、ボタンを押しても操作画面が表示されない	・ホールド機能が働いています。ホールド機能を解除してください(65ページ)。

記憶されている機能一覧表

ご注意

メーカー・機種によっては操作できない機能もあります。

TV(テレビ・アナログBSチューナー内蔵テレビ含む)

ボタン / ラベル表示	機能
POWER	電源オン / オフ
1~12	チャンネルダイレクト選択
INPUT	入力切り換え
DISPLAY	現在のテレビチャンネルの表示のオン / オフ
オフタイマー	テレビのスリープ設定 (スリープ機能付きテレビのみ)
MAIN/SUB	二重音声放送の切り換え
BS	アナログBS放送への切り換え
TV	テレビ画面への切り換え
◀◀	アナログBS放送のチャンネルダイレクト選局5
▶▶	アナログBS放送のチャンネルダイレクト選局7
■■	アナログBS放送のチャンネルダイレクト選局9
▶▶▶	アナログBS放送のチャンネルダイレクト選局11
VIDEO1	ビデオ入力1を選択
VIDEO2	ビデオ入力2を選択
VIDEO3	ビデオ入力3を選択
VIDEO4	ビデオ入力4を選択

ボタン / ラベル表示	機能
WOWOW.P	WOWOWデコーダー電源のオン / オフ
WOWOW M/S	WOWOWデコーダーの二重音声切り換え
WOWOW.S	WOWOWデコーダーの音声選択
BS M/S	アナログBSの二重音声切り換え
MENU	メニュー表示
↑	カーソルを上へ移動
↓	カーソルを下へ移動
→	カーソルを右へ移動
←	カーソルを左へ移動
ジョイスティック (OK)	選択項目の実行
CH + / -	次のチャンネルへ : + 前のチャンネルへ : -
VOL + / -	音量 大 : + 音量 小 : -
MUTING	消音

TV(テレビ・ビデオ 体型テレビ)

ボタン / ラベル表示	機能
POWER	電源オン / オフ
1~12	チャンネルダイレクト選択
INPUT	入力切り換え
DISPLAY	現在のテレビチャンネルの表示のオン / オフ
オフタイマー	テレビのスリープ設定 (スリープ機能付きテレビのみ)
MAIN/SUB	二重音声放送の切り換え
BS	アナログBS放送へ切り換え
TV	テレビ画面への切り換え
◀◀	巻戻し
▶▶	再生
▶▶	早送り
●(REC)*	録画(REC を押しながら▶▶を押す)
■	停止
■■	一時停止
BS5	アナログBS放送の チャンネルダイレクト 選局5
BS7	アナログBS放送の チャンネルダイレクト 選局7
BS9	アナログBS放送の チャンネルダイレクト 選局9
BS11	アナログBS放送の チャンネルダイレクト 選局11
WOWOW.P	WOWOWデコーダー 電源のオン / オフ
WOWOW M/S	WOWOWデコーダー の二重音声切り換え
WOWOW.S	WOWOWデコーダー の音声選択
BS M/S	アナログBSの二重音 声切り換え

ボタン / ラベル表示	機能
MENU	メニュー表示
↑	カーソルを上へ移動
↓	カーソルを下へ移動
→	カーソルを右へ移動
←	カーソルを左へ移動
ジョイス	選択項目の実行
ティック (OK)	
CH+/-	次のチャンネルへ : + 前のチャンネルへ : -
VOL +/-	音量大 : + 音量小 : -
MUTING	消音

* 本機では、誤って録画が始まらないように、●(REC)ボタン単独では操作できないようになっています。この録画操作は、学習機能を使ってひとつつのボタンに設定することができます(28ページ)。

記憶されている機能一覧表(つづき)

TV(テレビ・BSデジタルチューナー内蔵テレビ含む)

ボタン / ラベル表示	機能
POWER	電源オン / オフ
1~12	チャンネルダイレクト選択
BS1/1 ~ BS9/9、 BS10/0*	BSデジタル放送のチャンネルダイレクト選局、10キー選局
INPUT	入力切り換え
DISPLAY	現在のテレビチャンネルの表示のオン / オフ
オフタイマー	テレビのスリープ設定(スリープ機能付きテレビのみ)
BS*	BSデジタル放送への切り換え
10KEY*	10キー選局を行う
GUIDE*	番組ガイドのオン / オフ
II*	映像と同時に送られてくるデータを同時表示する(連動データ)
●(REC)*	BSデジタルラジオ / BSデジタルデータ / BSデジタルテレビを切り換える
◀*	画面に表示される青色で示される動作の選択
▶*	画面に表示される赤色で示される動作の選択
▶▶*	画面に表示される緑色で示される動作の選択
■*	画面に表示される黄色で示される動作の選択
MENU	メニュー表示
↑	カーソルを上へ移動
↓	カーソルを下へ移動
→	カーソルを右へ移動
←	カーソルを左へ移動

ボタン / ラベル表示	機能
ジョイスティック(OK)	選択項目の実行
CH + / -	次のチャンネルへ : + 前のチャンネルへ : -
RECALL	一つ前の画面に戻る(ジャンプ、リコール、CHリターン機能付きテレビのみ)
VOL + / -	音量 大 : + 音量 小 : -
MUTING	消音

* BSデジタル放送受信時に有効となるボタン

TUNER(スカイパーフェクTV! チューナー)

本機に記憶されているデータは、ソニーのデータに合わせたキー表示を行っているため、他社の機器が設定されたときは、本機の表示とキー表示が異なります。下記の表を参考にしてお使いください。(ラベルキーは、設定後、表示を変えてお使いください。)

メーカー	ソニー、ピクター(JVC) アイワ	パナソニック ナショナル(松下電器)
ボタン/ラベル表示		
POWER	電源	電源
1~9	1~9	1~9
10/0	0	0
11		
12/ENTER	選局	
CH+/-	チャンネル+/-	チャンネル+/-
RECALL	ジャンプ	前選局
BS	衛星切換	衛星切換
DISPLAY	画面表示	画面表示
INPUT		
MENU	メニュー	メニュー
↑		
↓		
→		
←		
ジョイスティック(OK)	決定	決定
GUIDE	番組ガイド	番組表
◀◀		
▶▶		ページ
●(REC)	ラジオ	
■		ページ
〃	スチル	
コノミイチラン	好み一覧	#
INFO	番組説明	放送内容
ヨヤクイチラン	予約一覧	
モドル		戻る
i.LINK	i.LINK	
ジャンル	日付 / ジャンル	
コノミ		
コノミ		
コノミセッティ		サブメニュー
MAIN/SUB	音声切換	信号切換
ヨヤクトウロク		

その他

記憶されている機能一覧表(つづき)

マーク	東芝、DXアンテナ マスプロ、ハムアンテナ	日立
ボタン/ラベル表示		
POWER	電源	電源
1~9	1~9	1~9
10/0	0	0
11	訂正*	
12/ENTER	#	
CH+/-	チャンネル+/-	チャンネル+/-
RECALL		CHリターン
BS	ネットワーク	衛星切換
DISPLAY		画面表示
INPUT		
MENU	メニュー	メニュー
↑		
↓		
→		
←		
ジョイスティック(OK)	決定	決定
GUIDE	番組ガイド	番組ガイド
◀◀		
◀		ページ
▶▶		
▶		
●(REC)	テレビ/ラジオ	
■		ページ
〃	機能	機能
コノミイチラン	お好みCH	マイCH
INFO	表示	詳細
ヨヤクイチラン	リザーブ(呼出)	予約一覧
モドル	戻る(取り消し)	戻る
iLINK		
ジャンル	ジャンル	
コノミ		
コノミ		
コノミセッティ	クイック	
MAIN/SUB	音多切換	音声切換
ヨヤクトウロク	リザーブ(記憶)	予約登録

アイワ	シャープ	NEC
電源	電源	電源
1~9	1~9	1~9
0	0	0
選局		
チャンネル+/-	選局 /	チャンネル+/-
前CH / ラスト5CH	チャンネルバック	
衛星A/B	衛星切換	
画面表示	表示切	ロゴ表示
メニュー	メニュー	メニュー
決定	決定	決定
番組ガイド	番組ガイド	チャンネルガイド
	ページ	
	ページ	
	ページ	
ラジオ		
	ページ	
	お好みABCDEFGH	
	スチル	
	マイチャンネル	プリセット
	マイプログラム	
番組説明	情報表示	
	番組情報	
予約一覧	予約確認	
戻る	戻る	キャンセル
	ジャンル	
好みCH		
好みCH		
好み設定		
音声切換	音声切換	二重音声

記憶されている機能一覧表(つづき)

メーカー	マスプロ	ユニデン
ボタン / ラベル表示		
POWER	電源	電源
1~9	1~9	1~9
10/0	0	0
11		
12/ENTER	#	
CH+/-	チャンネル+/-	情報 /
RECALL	番組画面へ戻る	前チャンネル
BS	衛星切換	信号切換
DISPLAY	表示	
INPUT		
MENU	メニュー	メニュー
↑		
↓		
→		
←		
ジョイスティック(OK)	決定	決定
GUIDE	番組表	番組ガイド
◀◀		
◀		
▶▶		
▶		
●(REC)		
■		
■		メモリー1/2/3/4
コノミイチラン		お好み
INFO	説明	
ヨヤクイチラン	予約一覧	予約確認
モドル	戻る	終了
iLINK		
ジャンル		ジャンル
コノミ	お好み	
コノミ	お好み	
コノミセッティ		メモリー設定
MAIN/SUB	音多切換	音声切換
ヨヤクトウロク		

TUNER (BSデジタルチューナー)

本機に記憶されているデータは、ソニーのデータに合わせたキー表示を行っているため、他社の機器が設定されたときは、本機の表示とキー表示が異なります。下記の表を参考にしてお使いください。(ラベルキーは、設定後、表示を変えてお使いください。)

メーカー	ソニー	パナソニック ナショナル(松下電器)
ボタン / ラベル表示		
POWER	電源	電源
1 ~ 9	1 ~ 9	1 ~ 9
10/0	10/0	10/0
11	11	*
12/ENTER	12 / 選局	#
CH +/-	チャンネル +/-	チャンネル /
BS	衛星切換	放送切換
DISPLAY	画面表示	画面表示
MENU	メニュー	番組ナビ
↑		
↓		
→		
←		
ジョイスティック(OK)	決定	決定
GUIDE	番組表	番組表
◀	青	青
▶	赤	赤
▶▶	緑	緑
●(REC)	ラジオ / データ	サービス切換
■	黄	黄
⏸	d(連動データ)	d(データ)
INFO	番組説明	番組内容
エイゾウ	映像	映像切換
モドル	戻る	戻る
i.LINKサイ	i.LINK再生	機器ナビ
i.LINKロク	i.LINK録画	
MAIN/SUB	二重音声	音声切換
10KEY	BS10キー入力	チャンネル番号入力
		その他

記憶されている機能一覧表(つづき)

メーカー	東芝	ビクター(JVC)
ボタン / ラベル表示		
POWER	電源	電源
1~9	1~9	1~9
10/0	10/0	10/0
11	*	11
12/ENTER	#	12
CH+/-	チャンネル /	チャンネル+/-
BS		
DISPLAY		画面表示
MENU	メニュー	メニュー
↑		
↓		
→		
←		
ジョイスティック(OK)	決定	決定
GUIDE	番組表	週間番組表
◀◀	青	青
▶▶	赤	赤
▶▶	緑	緑
●(REC)	メディア	信号切換
■	黄	黄
■■	d	d
INFO	表示	番組説明
エイゾウ	クイック	マルチビュー
モドル	戻る	戻る
i.LINKサイ	i.LINK	i.LINK
i.LINKロク		
MAIN/SUB		音声切換
10KEY	BS...	

シャープ

電源

1~9

10/0

11

12

チャンネル /

メニュー

決定

番組表

青

赤

緑

テレビ / ラジオ / データ

黄

d(データ連動)

番組情報

映像切換

戻る

音声切換

3桁入力

その他

記憶されている機能一覧表(つづき)

CATV(ケーブルテレビホームターミナル)

本機に記憶されているデータは、ソニーのデータに合わせたキー表示を行っているため、他社の機器が設定されたときは、本機の表示とキー表示が異なります。下記の表を参考にしてお使いください。(ラベルキーは、設定後、表示を変えてお使いください。)

メーカー	ソニー	他社のホームターミナル
ボタン / ラベル表示		
POWER	電源	電源
1~9	1~9	1~9
10/0	0	0
12/ENTER	選局	
CH+/-	チャンネル+/-	チャンネル(選局) /
RECALL	ジャンプ	リターン(リピート、チャンネルリターン、CHリコール)
BS	JSkyB/PerfecTV	
DISPLAY	画面表示	CHコール(表示、表示コード) 時計
INPUT		入力切換(ホームターミナル / ビデオ、ビデオ)
MENU	メニュー	メニュー
↑		
↓		
→		
←		
ジョイスティック(OK)	決定	決定
GUIDE	番組ガイド	
●(REC)	ラジオ	呼出
■	スチル	
コノミイチラン	好み一覧	お好みCH(メモリー、お好み)
INFO	番組説明	
ヨヤクイチラン	予約一覧	
i.LINK	i.LINK	
ジャンル	日付 / ジャンル	
MAIN/SUB	二重音声	音多切換(主/副)
オフタイマー		スリープ(オフタイマー)

TUNER(アナログBS/CSチューナー、MUSEデコーダー)

メーカー	ソニー
ボタン/ラベル表示	
POWER	電源
1~9	1~9
10/0	10/0
11	11
12/ENTER	12/ENTER
CH+/-	チャンネル+/-
BS*	BS/CS切換
DISPLAY	画面表示
INPUT*	入力切換
●(REC)*	WOWOW選択
■	独立音声切換
MAIN/SUB	音声切換

* BS/CSチューナーのみ

VTR1、VTR2(ビデオデッキ)

本機のボタン	機能
/ラベル	
POWER	電源オン/オフ
1~12	チャンネル選択
INPUT	入力ライン切換
DISPLAY	データスクリーン表示
BS	BS操作
MENU	メニュー表示
↑	カーソルを上へ移動
↓	カーソルを下へ移動
→	カーソルを右へ移動
←	カーソルを左へ移動
ジョイスティック(OK)	選択したメニューの決定
RECALL	設定メニューから抜ける
◀	巻戻し
▶	再生
▶▶	早送り
●(REC)*	録画(●(REC)を押しながら▶を押す。 最初に▶を離してから●(REC)を離す。)
■	停止
■	一時停止
EJECT	カセット取り出し
CH +/-	次のチャンネルへ: + 前のチャンネルへ: -
GUIDE	デッキ切り換え
ANT SW	アンテナ出力切り換え
SEARCH→	ロックドピクチャー ¹ サーチの早送り
SEARCH←	ロックドピクチャー ¹ サーチの巻き戻し
PLAY × 2	2倍速再生
C.RESET	カウンターのリセット
COUNTER	カウンター表示部分の表示切り換え
CMカット	再生中のCM部分を飛ばし見する
SP/LP	録画時間の切り換え

その他

* 本機では、誤って録画が始まらないよう、●(REC)ボタン単独では操作できないようになっています。この録画操作は、学習機能を使ってひとつのボタンに設定することができます(28ページ)。
[次のページへつづく](#)

記憶されている機能一覧表(つづき)

DVD(DVDプレーヤー)

ボタン / ラベル表示	機能
POWER	電源オン / オフ
1-9, 10/0	数字ボタン: 画面上の項目設定
11	10および10より大きい数を選択
12/ENTER	選択項目の決定
DISPLAY	現在の再生状態を画面に表示
RECALL	ひとつ前の選択画面に戻る
MENU	メニュー表示
↑	カーソルを上へ移動
↓	カーソルを下へ移動
→	カーソルを右へ移動
←	カーソルを左へ移動
ジョイスティック(OK)	選択項目の実行
◀	早戻し
▶	再生
▶▶	早送り
■	停止
⏸	一時停止
CH +	次の場面、曲へ
CH -	前の場面、曲へ
TITLE	タイトルメニュー表示
SUB TITLE	サブタイトルの切り換え
AUDIO	音声切り換え
CLEAR	取り消し
SEARCH→	正方向へのサーチ
SEARCH←	逆方向へのサーチ
FWD SLOW	正方向スロー再生
REV SLOW	逆方向スロー再生
EJECT	トレイの開閉
ANGLE	角度切り換え
TIME	時間表示切り換え
PLAYMODE	再生モード切り換え

DVD(DVDレコーダー/プレーヤー)

ボタン / ラベル表示	機能
POWER	電源オン / オフ
1-9, 10/0	数字ボタン(画面上の項目設定)
DISPLAY	現在の再生状態を画面に表示
RECALL	一つ前の選択画面に戻る
MENU	メニュー表示
↑	カーソルを上へ移動
↓	カーソルを下へ移動
→	カーソルを右へ移動
←	カーソルを左へ移動
ジョイスティック(OK)	選択項目の実行
◀	早戻し
▶	再生
▶▶	早送り
●(REC)*	録画(●(REC)を押しながら▶を押す)
■	停止
⏸	一時停止
CH+	次の場面、曲へ
CH-	前の場面、曲へ
TITLE	タイトルメニュー表示
SUB TITLE	サブタイトルの切り換え
AUDIO	音声切換
CLEAR	取り消し
SEARCH→	正方向のサーチ
SEARCH←	逆方向のサーチ
EJECT	トレイの開閉
ANGLE	角度の切換
PLAYMODE	再生モード切り換え
REC MODE	録画時間モードの切換
NEXT	次のチャプター / ノックを指定する
DISC	再生中のディスク交換
CM SKIP	CMを飛ばす

* 本機では、誤って録画が始まらないように、●(REC)ボタン単独では操作できないようになっています。この録画操作は、学習機能を使ってひとつボタンに設定することができます(28ページ)。

AMP(アンプ)

ボタン / ラベル表示	機能
POWER	電源オン / オフ
1	ビデオ1入力
2	ビデオ2入力
3	AUX入力
4	チューナー入力
5	CDプレーヤー入力
6	カセットデッキ入力
7	MD/DATデッキ入力
8	テレビ入力
9	レコードプレーヤー入力
11	DVDプレーヤー入力
DISPLAY	5.1以上のマルチチャンネル切り換え
GUIDE	バンド切り換え、またはプリセット選択
BS	FM/AM切り換え
RECALL	基本メニューに戻る
CH +/-	より高い周波数をプリセット、または受信： + より低い周波数をプリセット、または受信： -
VOL +/-	音量 大： + 音量 小： -
MUTING	アンプの消音 もう一度押して消音解除
S.FIELD	サウンド・フィールドのオン / オフ
GENRE	サウンド・フィールドの種類選択
MODE	サウンド・フィールドのモード選択
T.TONE	テスト・トーンの出力
CENTER+	センター・スピーカーのレベル調整： +
CENTER-	センター・スピーカーのレベル調整： -

ボタン / ラベル表示	機能
REAR+	リア・スピーカーのレベル調整： +
REAR-	リア・スピーカーのレベル調整： -
SUB+	サブ・ウーハーのレベル調整： +
SUB-	サブ・ウーハーのレベル調整： -
D.INPUT→	デジタル入力切り換え： →
D.INPUT←	デジタル入力切り換え： ←

記憶されている機能一覧表(つづき)

CD(CDプレーヤー)

ボタン / ラベル表示 機能

POWER 電源オン / オフ

1-9, 10/0 曲番号の選択(10を選択するには10/0を押す。)
10より大きい曲番号を選択するには下記参照

11 10および10より大きい曲番号の選択

12/ENTER 設定の決定

RECALL 次のディスクを選択

DISPLAY CDプレーヤーの表示
オン / オフ

BS 設定消去

◀ 早戻し

▶ 再生

▶▶ 早送り

■ 停止

■■ 一時停止

CH + 次の曲へ

CH - 前の曲へ

CONTINUE 連続再生モード

SHUFFLE ランダム(順不同)再生モード

PROGRAM プログラム再生モード

REPEAT リピート(繰り返し)
再生モード

DISC 数字ボタンの操作決定

TRACK 数字ボタンの操作決定

GROUP 数字ボタンの操作決定

EDIT 自動プログラムおよび
タイム・フェーダー設定モードに入る

EJECT 開閉

DSP MODE CDに付加されたDSP
モード内での切り換え

DSP OFF DSPモードオフ

FADER フェードイン / フェードアウトの切り換え

MD(MDデッキ)

ボタン / ラベル表示 機能

POWER 電源オン / オフ

1-9, 10/0 曲番号の選択(0を選択するには10/0を押す。)
10より大きい曲番号を選択するには下記参照

11 10および10より大きい曲番号の選択

12/ENTER 設定の決定

RECALL 次のディスクを選択

DISPLAY 表示モード切り換え、
または表示オン / オフ

BS 設定消去

◀ 早戻し

▶ 再生

▶▶ 早送り

●(REC)* 録音(●(REC)を押しながら▶を押す。
最初に▶を離してから●(REC)を離す。)

■ 停止

■■ 一時停止

CH + 次の曲へ

CH - 前の曲へ

CONTINUE 連続再生モード

SHUFFLE ランダム(順不同)再生モード

PROGRAM プログラム再生モード

REPEAT 1曲リピート(繰り返し)
再生、または全曲リピート再生のオン / オフ

DECK A ダブルデッキ選択 : A

DECK B ダブルデッキ選択 : B

REC MODE 録音モード切り換え

CD SYNC CDと同期スタート

EJECT 開閉

FADER フェードイン / フェードアウト切り換え

SCROLL 表示しきれないディスク・タイトルなどの表示

* 本機では、誤って録音が始まらないように、●(REC)ボタン単独では操作できないようになっています。この録音操作は、学習機能を使ってひとつボタンに設定することができます(28ページ)。

HDVR(ハードディスクビデオレコーダー)

ボタン / ラベル表示	機能
POWER	電源オン / オフ
1~12	チャンネル選択(1~12、10キー選択の場合は10/0は0)
12/ENTER	選択項目の決定
INPUT	ライン入力の切り換え
DISPLAY	画面表示のモード選択
MAIN/SUB	二重音声切換
TITLE	録画済みタイトル画面のオン / オフ
◀	早戻し
▶	再生
▶▶	早送り
●(REC)*	録画(●(REC)を押しながら▶を押す)
■	停止
■■	一時停止
LIST	リスト画面の種類を選択する画面のオン / オフ
MONITOR	録画確認
RECSTOP	録画を停止
RECPAUSE	録画を一時停止
マイチャンネル	マイチャンネルのオン / オフ
ザンリョウ	画面表示のモード選択
RECSPEED	録画モード(記録レート)選択
SETUP	セットアップメニューのオン / オフ
リプレイ	再生中に数秒戻して再生する
MENU	メニュー表示
↑	カーソルを上へ移動
↓	カーソルを下へ移動
→	カーソルを右へ移動
←	カーソルを左へ移動

ボタン / ラベル表示	機能
ジョイスティック(OK)	選択項目の実行
CH+	次のチャンネルへ : +
CH-	前のチャンネルへ : -

* 本機では、誤って録画が始まらないように、●(REC)ボタン単独では操作できないようになっています。この録画操作は、学習機能を使ってひとつのボタンに設定することができます(28ページ)。

記憶されている機能一覧表(つづき)

DAT(デジタルオーディオテープデッキ)

ボタン / ラベル	機能
ル表示	
POWER	電源オン / オフ
1-9、10/0	曲番号の選択(10を選択するには10/0を押す。)
DISPLAY	表示モード切り換え、または表示オン / オフ
◀◀	巻戻し
▶▶	再生
▶▶▶	早送り
●(REC)*	録音(●(REC)を押しながら▶を押す。最初に▶を離してから●(REC)を離す。)
■	停止
■■	一時停止
EJECT	開閉
CH +	次の曲へ
CH -	前の曲へ
HIGH REV	高速レビュー
HIGH CUE	高速キュー
FADER	フェードイン / フェードアウトの切り換え
REC MUTE	無音録音

TAPE A、TAPE B (カセットデッキ)

ボタン / ラベル	機能
POWER	電源オン / オフ
◀◀	巻戻し
▶▶	再生
▶▶▶	早送り
●(REC)*	録音(●(REC)を押しながら▶▶を押す。最初に▶▶を離してから●(REC)を離す。)
■	停止
■■	一時停止
INPUT	裏面の再生
DISPLAY	表示モード切り換え
GUIDE	カセットデッキ本体のデッキ選択A/B(ダブルカセットの場合のみ)
CH +	早送り頭出しサーチ
CH -	巻戻し頭出しサーチ
DOLBY NR	ドルビーノイズリダクション
REC LEV+	録音レベルを高く : +
REC LEV-	録音レベルを低く : -
REC MUTE	無音録音
CD SYNC	CDと同期スタート
FADER	フェードアウト後の停止 スタート後のフェードイン
C.RESET	テープカウンターのリセット

* 本機では、誤って録音が始まらないように、●(REC)ボタン単独では操作できないようになっています。この録音操作は、学習機能を使ってひとつつのボタンに設定することができます(28ページ)。

索引

ア行

安全のために	2
お手入れ	73
オートオフ機能	
バックライト	65
音量調節	24,32

力行

学習機能	24
画面表示	
コントラスト	67
機器選択ラベル	15
システムコントロール機能を設定する	36
電源オン機能を設定する	47
表示と違う機器を設定する	49
キータッチ音	67
工場出荷時の設定	13,32,36,65,67,71
故障	74
コピー機能	
機器選択ボタン / ラベルキーの操作設定のコピー	49

サ行

消去	
すべての設定内容を消去する	71
（「変更 / 消去」参照）	
システムコントロール機能	36
設定をロックする	65
操作プログラムの設定	36
操作ステップ間隔	45

タ行、ナ行

タイマー設定	54
チャンネルマクロ機能	51
電源オン機能を設定する	47
電源オフ機能	
SONY OFFラベル	36,40
電池	9
時計合わせ	10

ハ行

バックライトのオートオフ時間	65
変更	
コンポーネントマクロの実行時間	46
システムコントロール機能の操作ステップ間隔	45
ラベルの表示	28,40,53,59,68
変更 / 消去	
学習したリモコン信号	20,31
機器選択ラベルに登録した内容	20
コンポーネントマクロ機能	20,44
システムコントロール機能	41
タイマープログラム	63
チャンネルマクロ機能	53
ホールド機能	65

その他

マ、ヤ行

メーカー設定	13
メーカー番号	13
文字入力	29,68

索引(つづき)

ラ、ワ行

リモコン操作をロックする 65

アルファベット順

BSボタン	8,78
CH +/-ボタン	8,78
COMPOボタン	8,22
DISPLAYボタン	8,78
GUIDEボタン	8,78
INPUTボタン	8,78
MENUボタン	8,78
MUTINGボタン	8,24
POWERボタン	8,78
RECALLボタン	8,78
SCROLLボタン	8,15
SETボタン	8,10
SYSTEMボタン	8,36
TIMERボタン	8,62
VOL +/-ボタン	8,24

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

万一故障した場合は、内部を開けずに、お買い上げ店にご相談ください。

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として

「テクニカルインフォメーションセンター」

を開設しています。

お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター

電話 : 048-794-5194

受付時間 : 月 ~ 金 午前9時から午後6時まで

(祝日、年末年始、弊社休日を除く)

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

・型名 :

・ご相談内容 : できるだけ詳しく

・お買い上げ年月日

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

● ナビダイヤル  0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は 03-5448-3311

● Fax 0466-31-2595

受付時間 :

月 ~ 金

9:00 ~ 20:00

土・日・祝日

9:00 ~ 17:00

<http://www.sony.co.jp/>